

---

## 地域別構想

---



# 地域別構想

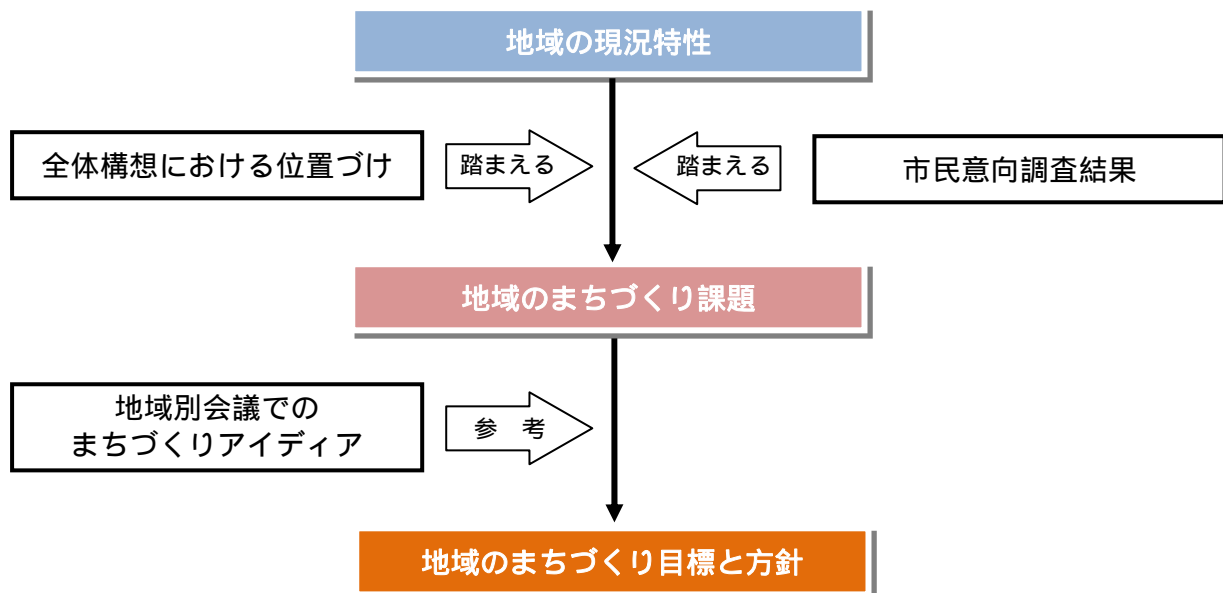
## 1 地域別構想の考え方

### 1. 地域別構想とは

地域別構想は、全体構想に示された都市整備の方針等を受け、各地域の現状や課題に対応したまちづくり目標を設定し、それを実現するためのまちづくりの方針を明らかにするものです。

そこで、地域別構想の策定にあたっては、各地域の現況特性や全体構想における位置づけ、市民意向調査結果を踏まえつつ、住民ワークショップ（都市計画マスタープラン地域別会議）を開催して地域の魅力や愛着、問題点及びまちづくりアイデア等を抽出し、これを参考としながら、地域のまちづくり目標やまちづくり方針を設定します。

図 地域別構想の構成



### 2. 地域区分

地域別構想における地域区分の設定については、以下に示す考え方を基本に設定します。

地域別構想は、全体構想の「都市づくりの目標」において示したように、「過度に自動車交通に頼らなくても暮らし続けることができる」ような「身近な生活圏」づくりに向けたまちづくりの方向性を示すものでもあります。したがって、今後、この「身近な生活圏」への再構築が図られるよう、全体構想における拠点（都市拠点や地区拠点）の配置や市街地のまとまり、郊外部での集落地や一団の住宅団地の分布状況を勘案して設定します。

こうした生活圏の範囲は、鉄道や河川等の物理的要素により区分されるものではなく、市民（地域住民）同士の日常生活上の交流範囲でもあることから、都市（地域）の生い立ち（町村合併等の経緯）や社会的圏域（大字界等）を勘案して設定します。

地域としての一体性やまとまりが地域住民に理解されやすい地域となるよう配慮して、設定します。

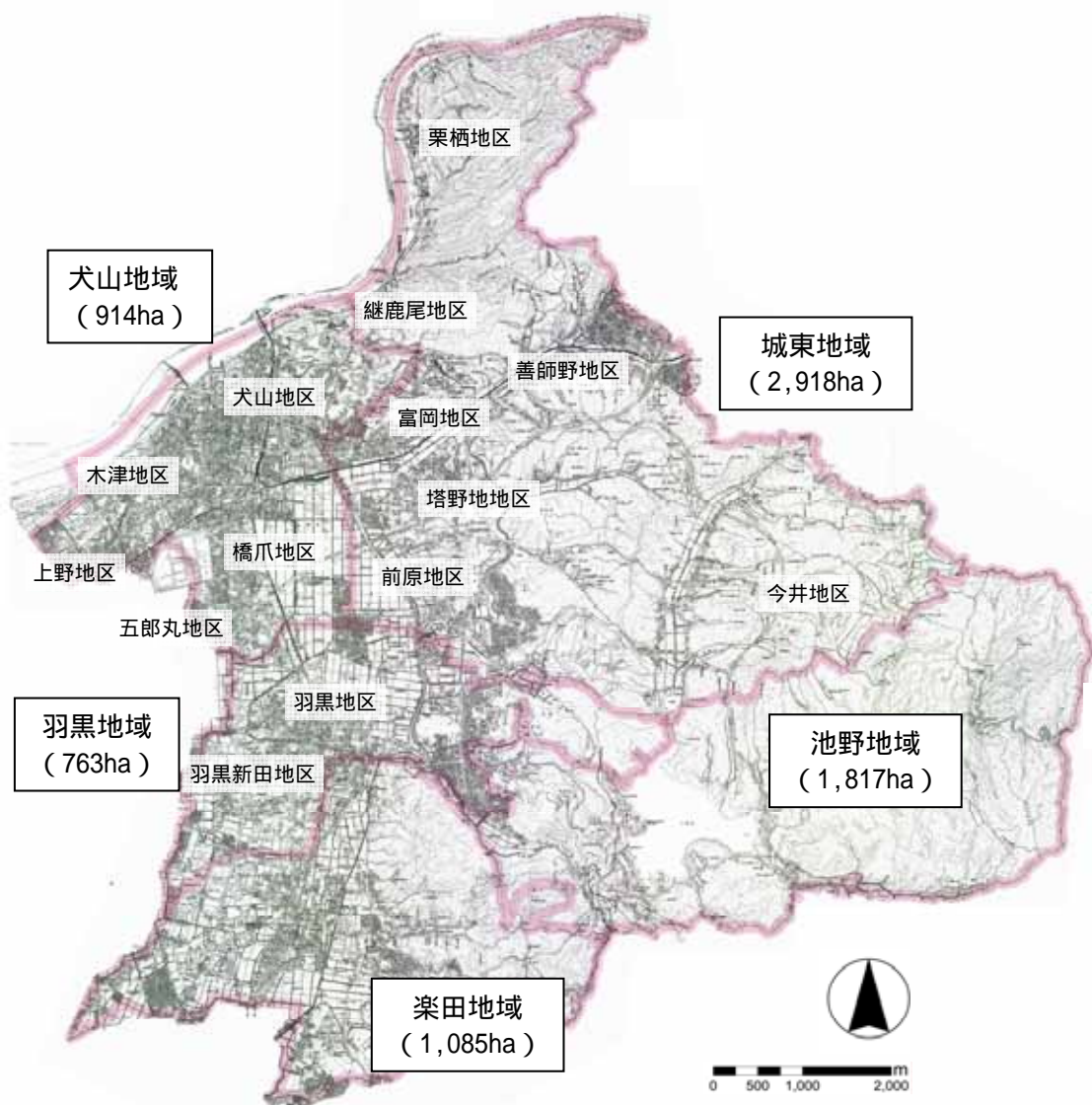


こうした考え方を踏まえ、以下に示すように本市を5つの地域に区分します。

本市の市街地は、大きく犬山、羽黒、楽田の3つに分かれています。都市拠点及び地区拠点を中心としたこれら各々の市街地が1つの地域となるように、都市の生い立ちや歴史的経緯を勘案し、旧町村に基づく地区割により、「犬山地域」、「羽黒地域」、「楽田地域」に区分します。

上記以外の市街地を含まない主に市東部の区域（大半が市街化調整区域）については、1つの地域とした場合、範囲が広すぎ日常的生活範囲を超える地域設定となる懸念があります。逆に、大字界等で区分した場合は、人口や都市機能の集積が非常に少ない地域等が生まれる可能性があります。そこで、この区域についても、上記と同様に、都市の生い立ちや歴史的経緯を勘案し、旧町村に基づく地区割により、2つの地域（「城東地域」、「池野地域」）に区分します。

図 地域区分図



### 3. 各地域の住民意向

地域住民が考える地域の環境や日常生活に関するニーズ、地域の将来像を市民意向調査結果及び地域別会議結果をもとに整理します。

#### (1) 市民意向調査結果

「ニーズ得点」については、羽黒地域や楽田地域、市域東部の集落地や農地、森林が中心の城東地域、池野地域において得点の高い項目が多く、特に「災害時の安全対策」、「バスなどの公共交通の充実」、「日常の買い物のしやすさ」に対するニーズ（必要性）が高くなっています。また、「医療施設や福祉施設の充実」については、ほぼ全地域（地区）でニーズが高くなっています。

「将来像」については、城東地域（今井地区）以外では、「防災や防犯に優れた安全・安心なまち」が最も望まれています。今井地区では、「バスなどの公共交通が充実しているまち」が最も望まれています。

#### 犬山地域

犬山地区は、市全体と比べると、「お店や銀行などの生活利便施設が充実したまち」や「文化や歴史等を活かした個性豊かなまち」が多く望まれています。

橋爪・五郎丸地区は、市全体と比べると、「身近な生活基盤（生活道路や子どもの遊び場等）が整ったまち」や「住宅中心の静かで落ち着いた生活のできるまち」が多く望まれています。

木津・上野地区は、市全体と比べると、「住宅中心の静かで落ち着いた生活のできるまち」が多く望まれています。

#### 城東地域

栗栖・継鹿尾地区は、市全体と比べると、「住まい周辺の生活道路の整備」や「交通安全対策」、「河川・排水路の整備」についての必要性が高くなっています。また、「緑や水辺空間のある潤いに満ちたまち」や「周辺の農地と調和し、昔ながらの農業集落地の雰囲気が残るまち」が多く望まれています。

富岡・善師野地区は、市全体と比べると、「住宅中心の静かで落ち着いた生活のできるまち」や「バスなどの公共交通が充実しているまち」が多く望まれています。

塔野地・前原地区は、市全体と比べると、「下水道の整備」についての必要性が高くなっています。また、「バスなどの公共交通が充実しているまち」や「周辺の農地と調和し、昔ながらの農業集落地の雰囲気が残るまち」が多く望まれています。

今井地区は、市全体と比べると、「住まい周辺の生活道路の整備」についての必要性が高くなっています。また、「バスなどの公共交通が充実しているまち」や「周辺の農地と調和し、昔ながらの農業集落地の雰囲気が残るまち」が多く望まれています。「地域の発展のために、働く場と住む場が一体となったまち」も比較的多く望まれています。

#### 羽黒地域

市全体と比べると、「住宅中心の静かで落ち着いた生活のできるまち」や「バスなどの公共交通が充実しているまち」、「緑や水辺空間のある潤いに満ちたまち」が多く望まれています。

楽田地域

市全体と比べると、「住まい周辺の生活道路の整備」についての必要性が高くなっています。また、「周辺の農地と調和し、昔ながらの農業集落地の雰囲気が残るまち」が多く望まれています。

池野地域

市全体と比べると、「バスなどの公共交通が充実しているまち」が多く望まれており、「地域の発展のために、働く場と住む場が一体となったまち」も比較的多く望まれています。

表 地域の環境や日常生活に関するニーズ得点

	犬山地域			城東地域				羽黒地域	楽田地域	池野地域	市全体
	犬山地区	橋爪・五郎丸地区	木津・上野地区	栗栖・継鹿尾地区	富岡・善師野地区	塔野地・前原地区	今井地区				
医療施設(個人病院など)や福祉施設の充実について	9.50	9.02	9.51	8.33	10.73	9.93	11.14	9.23	9.77	10.92	9.81
バスなどの公共交通の充実について	8.38	8.74	9.46	7.44	10.27	10.77	12.04	9.22	9.58	11.42	9.73
日常の買物のしやすさ(商店等の充実)について	8.77	7.69	8.36	8.22	10.79	10.60	11.41	9.22	9.45	11.00	9.55
交通安全対策について	8.94	9.19	8.76	10.00	9.32	8.89	10.91	9.20	9.49	9.88	9.46
災害時の安全対策(避難場所の近さ等)について	8.31	8.74	8.97	8.00	9.25	9.54	9.81	9.07	9.52	10.52	9.17
住まいが面する道路をはじめ住まい周辺の生活道路の整備について	8.02	8.56	8.18	9.80	8.00	8.29	12.52	8.11	9.48	9.19	9.02
日頃利用する公園や子どもの遊び場について	8.17	8.85	7.54	5.89	7.65	8.10	10.27	8.23	9.08	8.92	8.27
河川・排水路の整備について	7.08	7.84	7.81	8.78	6.64	8.15	10.18	7.80	7.71	7.84	7.98
下水道の整備について	7.26	7.81	8.11	6.33	6.99	10.06	10.55	6.84	6.90	5.52	7.64
住まいの日照や風とおしについて	6.96	6.99	7.69	6.50	5.71	6.48	6.33	6.51	6.90	6.12	6.62
地域の歴史を残すものや風景について	6.27	6.19	6.39	5.50	5.92	6.26	5.41	6.23	6.07	5.84	6.01
田畑、河川、社寺林などの身近な自然環境について	6.13	5.93	5.86	5.88	5.28	5.46	6.14	5.56	5.82	5.50	5.76

：各地区において、ニーズ得点が9点以上のもの

ニーズ得点の算出方法：重要度得点×(5-満足度得点)

重要度得点とは、重要度(重要、まあ重要、あまり重要でない、重要でない)を4点満点で得点化したもので、満足度得点とは、満足度(満足、まあ満足、やや不満、不満)を4点満点で得点化したものです。「まあ重要」(3点)に感じ、かつ「やや不満」(2点)と判断された項目は、ニーズ得点が9点(=3点×(5-2点))となり、これ以上の得点のものをニーズ(必要性)が高い項目として抽出します。

表 地域の将来像

	犬山地域			城東地域				羽黒地域	楽田地域	池野地域	市全体
	犬山地区	橋爪・五郎丸地区	木津・上野地区	栗栖・継鹿尾地区	富岡・善師野地区	塔野地・前原地区	今井地区				
防災や防犯に優れた安全・安心なまち	48.5%	52.8%	50.6%	54.5%	56.2%	56.2%	44.0%	58.6%	53.4%	56.7%	53.4%
身近な生活基盤(生活道路や子どもの遊び場等)が整ったまち	38.5%	41.7%	32.7%	27.3%	35.0%	29.2%	36.0%	31.0%	32.2%	20.0%	34.7%
住宅中心の静かで落ち着いた生活のできるまち	27.3%	40.7%	40.7%	27.3%	44.5%	28.1%	4.0%	38.8%	31.3%	26.7%	34.1%
緑や水辺空間のある潤いに満ちたまち	28.7%	33.2%	30.9%	45.5%	29.2%	30.8%	32.0%	33.8%	31.3%	20.0%	31.1%
お店や銀行などの生活利便施設が充実したまち	39.2%	29.6%	30.2%	27.3%	29.2%	23.8%	20.0%	30.7%	28.3%	23.3%	30.6%
バスなどの公共交通が充実しているまち	20.2%	23.6%	27.2%	27.3%	39.4%	42.2%	48.0%	35.3%	29.6%	46.7%	30.5%
周辺の農地と調和し、昔ながらの農業集落地の雰囲気が残るまち	9.5%	21.6%	13.6%	36.4%	27.0%	34.6%	40.0%	22.8%	37.1%	26.7%	23.0%
文化や歴史等を活かした個性豊かなまち	37.3%	19.6%	19.8%	18.2%	20.4%	11.9%	12.0%	18.0%	14.7%	6.7%	21.4%
地域の発展のために、働く場と住む場が一体となったまち	9.5%	11.6%	14.8%	9.1%	2.9%	10.8%	20.0%	10.9%	11.7%	16.7%	10.8%
にぎわいのある商業地のあるまち	14.0%	4.5%	7.4%	9.1%	4.4%	5.9%	0.0%	5.6%	6.5%	3.3%	7.6%
その他	1.0%	0.5%	3.1%	0.0%	1.5%	1.1%	4.0%	1.5%	1.0%	3.3%	1.4%
マンションをはじめ都会的な建物が建ち並ぶまち	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.8%	0.3%	0.0%	0.6%

：各地区において、回答率が市全体回答率より高いものの中で上位3項目以内のもの

：各地区において、最も回答率が高いもの

(資料：市民意向調査報告書)

(2) 地域別会議結果(地域の魅力と問題点)

「地域別会議」とは、地域別構想策定の参考とするため、各地域のまちづくりに関する意見やアイデアを、地域住民の目線で提案していただくことを目的に開催した意見交換の場

犬山地域

魅力としては、医療福祉や商業施設が充実しているといった「土地利用」に関する意見が挙げられています。

問題点としては、狭あい道路や駐車場問題等、「交通体系」に関する意見が多く挙げられています。

【犬山地域】

	魅力や愛着	問題点
土地利用	<p><b>医療・福祉</b>・福祉施設が多い ・町医者が多い</p> <p><b>商業施設</b>・買い物に便利が良い</p>	<p><b>医療・福祉</b>・犬山中央病院の前に駅が必要である ・拠点医療施設がない(高度医療ができない) ・総合病院の充実が必要である ・休日診療所の周辺の開発が必要である</p> <p><b>商業施設</b>・高齢者には不便な生活環境となっている(買物難民) ・スーパー、コンビニ等が何もない(生活難民) ・スーパーがつぶれ、買物ができない</p> <p><b>住宅</b>・住宅地開発に計画性がない</p> <p><b>田畑</b>・国道41号の五郎丸地区の田畑の有効利用改善が必要である</p>
交通体系	<p><b>公共交通</b>・駅に近い ・犬山口駅に準急が止まるようになった</p>	<p><b>公共交通</b>・コミュニティバスが通ってない ・公共交通がない ・自動車がないと日常生活に不便である</p> <p><b>狭い道路</b>・道路が狭くカーブミラーが見えない ・地域全体で、自転車で走り難い ・道が狭い(三光自動車脇道路、四日市の信号から犬山城へのライン大橋の道、万願寺信号への道路) ・一方通行の出口の曲がりかぎつすぎる</p> <p><b>道路計画</b>・都市計画道路だが、全く計画が見えない ・計画性のない道路行政となっている ・市道(都)犬山富士線の整備は安全面と周辺土地利用計画が離反しており、本町通りの交通バイパスの考え方のみは残念である</p> <p><b>道路維持・管理</b>・道路の陥没が多く補修が追いつかず危険である ・道路がデコボコしている ・白線が消えている道路が多すぎる</p> <p><b>歩行者・自転車交通</b>・樹木が歩道にはみ出ている(犬山城北のライン大橋)</p> <p><b>交通量</b>・成田山、モンキーパーク等で車が渋滞する ・本町通りの交通量が多い(観光の面) ・(都)一宮犬山線の交通量が増加し危険である(歩道整備を早急にしてほしい)</p> <p><b>信号機</b>・信号が少ない ・信号機が交差点にない(人身事故防止)</p> <p><b>駐車場</b>・観光客に対する駐車場の改善が必要である ・城前の駐車場問題の改善が必要である ・駅周辺に駐車場が無い(犬山口)</p>
緑地・公園	<p><b>公園</b>・公園が多い</p>	<p><b>公園</b>・楠公園の改善が必要である(見通しが悪い、利用しにくい) ・ニュータウン公園内の遊具の整備が必要である</p>
自然環境	<p><b>景観</b>・休日の憩いの場としての木曽川、東部里山等が豊富で住み良い所である(但し整備度は低い)</p> <p><b>自然</b>・自然が多い</p>	<p><b>生き物</b>・虫が多い(ムカデ)</p>
その他	<p><b>地域コミュニティ</b>・近所の人があたたかい</p> <p><b>生活環境</b>・環境が良好である ・静かで生活しやすい</p> <p><b>災害</b>・川の増水等の今年の雨による災害がなく安心</p> <p><b>都市景観</b>・夜景が美しい</p>	<p><b>生活環境</b>・水道工事がやかましい</p> <p><b>排水問題</b>・水路が氾濫する(数日前もブロック三段水没) ・水路部の暗渠が細く道路が水没し、交通の妨げになっている(流量設計のやり直し) ・水路敷が通学路となり危険が多い(水路敷から道路への変更) ・工場の雨水調整池の規模が小さく、雨水の一気に流出を招いている ・本市の雨水排水を半ノ木川に落とす計画の推進(氾濫対策)が必要である ・池の管理が不十分、昔の池の水を抜くことができず季節によって臭い ・本市内の水が一手に流入し川が氾濫する(川が工場用地設置時、90度と90度で、曲げ流量低下を招いている) ・環境面で優れた木曽川ではあるが、地域内を開放型水路の木津用水、宮田用水があり安全面、景観面からも最悪である</p> <p><b>下水・衛生</b>・衛生車がある ・下水道の設置予定がなく不衛生である(雨水の氾濫浄化槽より汚水流出で不衛生) ・浄化槽の管理規定が無く(知らない)大変不衛生である</p>

城東地域

魅力としては、景観の良さや豊かな自然といった「自然環境」に関する意見が多く挙げられています。

問題点としては、狭い道路や公共交通の不便さといった「交通体系」に関する意見のほか、「その他」として、子どもの就学環境に関する意見が多く挙げられています。

【城東地域】

	魅力や愛着	問題点
土地 利用		<p><b>商業施設</b>・高齢者の買い物ができない</p> <p><b>住宅</b>・居住者が少なくなっている（塔野地） ・住宅が建てられない</p> <p><b>産業</b>・働く工場等が近くにない</p>
交通体系	<p><b>公共交通</b>・名古屋行きバス（直行）9本/日あるので良い（今井）</p> <p><b>自動車交通</b>・自動車の便がよい ・車の運転ができる方にとっては便利が良い ・国道41号に近いが、交通の便が良い</p>	<p><b>公共交通</b>・車の運転ができない方にとっては不便である ・生活圏として西可児へのコミュニティバスのアクセスが必要である ・バスの停留所が少ない（四季の丘） ・買物が不便である（車じゃないと行けない） ・便利が悪い</p> <p><b>狭い道路</b>・住宅地で車同士がすれ違えない ・栗栖へ入る道路が狭い ・大型バスが通れない ・道路が狭く防災上大変悪い（塔野地など）</p> <p><b>歩行者・自転車交通</b>・栗栖から犬山中学校へ通う安全な自転車道がない</p> <p><b>アクセス</b>・便利が悪い ・本市に住んでいるという実感が持てない（中心地へのアクセスが悪い） ・西可児とのアクセスが悪い（スーパーは西可児の方が近いのに）</p>
緑地・公園	<p><b>名所・レジャー</b>・桃太郎伝説、桃太郎神社がある ・誰でもできるバーベキュー場がある</p>	<p><b>公園</b>・公園がない（今井）</p>
自然環境	<p><b>景観</b>・里山の自然を残す ・山が美しい ・散歩やジョギングに最適である（田んぼ、畑） ・新郷瀬川等「花見」ができる ・木曽川が集落にある ・花菖蒲園がある（栗栖）</p> <p><b>自然</b>・中島池の豊かな自然がある ・米がおいしい ・沢山の遊歩道がある（山歩き） ・田園地帯で空気が良い</p> <p><b>生き物</b>・野生動物や鳥がよく見える ・栗栖川にホタルが出る</p>	<p><b>自然</b>・東大演習林で土地活用できない</p> <p><b>生き物</b>・猪が出て農作物がダメになっている ・アライグマ、ヌートリアなどによる野菜の被害が大きい</p>
その他	<p><b>地域コミュニティ</b>・若い方が多い ・ボランティアによる河川のごみ清掃が行われている ・子供も大人も挨拶をする</p> <p><b>生活環境</b>・リトルワールドが近いので良い ・閑静である ・静かである</p> <p><b>災害</b>・災害時、水に対して安心できる</p> <p><b>歴史・伝統</b>・あじさい寺がある（栗栖） ・羽黒の名所を知らせる ・伝統的なお祭りがある</p> <p><b>教育</b>・栗栖小学校がある</p>	<p><b>地域コミュニティ</b>・老人が気軽に集まれる集会所がない ・自治会が弱い（子供会、老人会がない）（四季の丘） ・若い世代が住みつかない（塔野地など）</p> <p><b>生活環境</b>・空き巣が多発している（国道に近い） ・農業では生活できない ・国道41号がうるさい</p> <p><b>教育</b>・中学生の送迎のため女性が働けない ・小学校、中学校、高校までの道が遠い ・H22年度栗栖小学校全校児童16名と少ない ・子供が少ない（ある小学校では全校児童30名） ・保育園児を預ける時間が短い</p> <p><b>災害</b>・災害の伝達方法がない ・栗栖が深層崩壊（巨大土砂崩れ）しないか心配である ・昭和58年の災害で、桃太郎神社公園が水没した</p> <p><b>下水・衛生</b>・川が汚い ・下水の計画がない</p> <p><b>防犯</b>・通学路にチカンが出る（中高生の通学路）</p> <p><b>ごみ</b>・通行車（者）がごみを捨てていく</p>



羽黒地域

魅力としては、五条川沿いの桜並木や地域の歴史・伝統に関する意見が多く挙げられています。

問題点としては、狭い道路や都市計画道路の整備等、「交通体系」に関する意見が多く挙げられています。

【羽黒地域】

	魅力や愛着	問題点
土地利用	<p><b>医療・福祉</b>・愛知県 1 位の犬山動物病院がある</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人病院がわりと近くにある</li> <li>・近隣に（徒歩圏内）民間医療施設がある</li> </ul> <p><b>商業施設</b>・スーパー等が近くにある</p> <p><b>公共施設</b>・公共施設が近くにある</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい体育館に期待する</li> </ul> <p><b>近隣区域</b>・隣接する犬山高根洞工業団地との関連を考える</p>	<p><b>田畑</b>・何十年も捨てておいてある休耕田に木が生えてまわりに迷惑をかけている</p> <p><b>敷地境界線</b>・道路の境が地権者との話し合いができない場所がある</p> <p><b>線引きの不整合</b>・線引きが現実とあっていない</p> <p><b>駅前</b>・羽黒駅がしょぼい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場がない</li> <li>・駅前の活性がない</li> <li>・旧 41 号沿いの商店街がさびれてしまった</li> <li>・駅前商店街が死んでいる（犬山ローレライ麦酒さんの取組みをお手本にするべき）</li> </ul>
交通体系	<p><b>アクセス</b>・都心に出やすい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄まで 45 分で行ける</li> <li>・高速道路にアクセスしやすい</li> <li>・小牧東 IC からのアクセスメリットを出す</li> <li>・他県へ出掛けるのに交通アクセスがよい</li> <li>・空港へのアクセスがよい（犬山から 60 分）</li> </ul>	<p><b>狭い道路</b>・踏切が狭い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道が狭い（古い集落、富士掛道、羽黒駅前、避難場所までの道、通学路等）</li> <li>・生活道路に車が来て危険である（市民文化会館南の道路）</li> <li>・東西への大型車が通過するための道路がない</li> <li>・救急車等緊急用の車輛が入りにくい</li> </ul> <p><b>道路計画</b>・都市計画道路の変更をしてほしい（興禅寺前）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無駄な金を使わないようにしてもらいたい（2~3 年で草が生える）</li> <li>・県道斎藤羽黒線蟬屋交差点から東へ延長してほしい</li> </ul> <p><b>道路維持・管理</b>・歩道の端に草が生えて学生が自転車で通学時に困っている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路に竹藪の根が伸びてピッチを押し上げて、通るのに不都合である</li> </ul> <p><b>街路灯</b>・古い集落では街路灯の光が届かない状態である</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要道の夜間（防犯）照明が少ない</li> <li>・街路灯はすべて LED にする</li> </ul> <p><b>歩行者・自転車</b>・通学路をチェックしてもらいたい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の通学路が危険である（狭い、曲がり）</li> <li>・市道（都）犬山富士線を歩車分離してほしい（歩道整備）</li> </ul> <p><b>交通量</b>・通勤時間帯に渋滞する（犬山富士線）</p>
公園・緑地	<p><b>名所・レジャー</b>・五条川の整備が進行している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川の桜が保護され、充実してきた</li> <li>・五条川沿いの散歩等が比較的しやすい</li> <li>・五条川のぼんぼりをさらに良くしたい</li> <li>・五条川の桜並木をさらに知らしめたい</li> <li>・五条川に赤い橋の整備が必要である</li> <li>・笑面寺の桜はよい（枯れかけているので手入れが必要）</li> </ul>	<p><b>公園</b>・市民公園がない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園がない</li> <li>・公園の遊具にサビが出て、修理が必要である</li> <li>・するすみ公園の活用が必要である</li> </ul>
環境	<p><b>景観</b>・入鹿池をデートコースにしてはどうか</p> <p><b>生き物</b>・ホテルを復活させたい</p>	<p><b>河川</b>・子供が遊べる小川がない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川の活用が制限されているのでは？</li> </ul>
その他	<p><b>地域コミュニティ</b>・町内のコミュニケーションがよい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人とのコミュニケーションがよい（成海地区）</li> </ul> <p><b>歴史・伝統</b>・羽黒城がある（羽黒城を名所にしたい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史蹟等の文化財がある</li> <li>・歴史地区としての竹林整備が進行中である</li> <li>・八幡林（野呂助ヶ左衛門）の活用が必要である</li> <li>・古い建物の寺がある（興禅寺）</li> </ul> <p><b>地域活性</b>・犬山ローレライ麦酒さんがさまざまな取組みをしている（お手本とする）</p>	<p><b>地域コミュニティ</b>・祭が静かである</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の集まる場所がない</li> <li>・羽黒地区での町内間の連携があまりない</li> </ul> <p><b>教育</b>・学校に芝生が必要である</p> <p><b>災害</b>・災害時の避難設置が十分でない</p> <p><b>排水問題</b>・高尾用水があふれた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、集中的に雨が降ると道路が川のように流れる</li> </ul>

楽田地域

魅力としては、薬師川の景観や豊かな自然といった「自然環境」に関する意見のほか、歴史・伝統に関する意見が多く挙げられています。

問題点としては、公共交通の不便さや都市計画道路の整備等、「交通体系」に関する意見が多く挙げられています。

【楽田地域】

	魅力や愛着	問題点
土地利用		<p><b>商業施設</b>・商業施設がない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中・大型の商業施設がない</li> <li>・レストランが少ない</li> <li>・買い物物が不便である</li> </ul> <p><b>公共施設</b>・体育館の建設を早急にしてほしい（団地の空地へ持ってきてほしい）</p> <p><b>産業</b>・大企業の誘致が必要である</p>
交通体系		<p><b>公共交通</b>・コミュニティバスの本数が少ない（バスがあまりこない）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋経済大学は楽田に立地しているが、楽田駅下車ではなく田県神社前駅（小牧市）から利用している</li> </ul> <p><b>狭い道路</b>・道路が狭い（大県神社線、若宮江南線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古い集落で町内の道が狭く非常時に心配である</li> </ul> <p><b>道路計画</b>・犬山高根洞工業団地の通路を早く施行してほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路が30年以上できてない</li> <li>・道路整備が進んでいない</li> <li>・都市計画道路を早期完了してほしい</li> </ul> <p><b>街路灯</b>・夜暗い（薬師川沿い）</p> <p><b>歩行者・自転車</b>・歩道が狭い（薬師川沿い）</p> <p><b>交通量</b>・楽田駅道路が渋滞する（平日）</p>
公園・緑地		<p><b>公園</b>・安心して子供を遊ばせられる公園が必要である</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまった公園は1つしかない（山の田公園だけ）</li> </ul>
自然環境	<p><b>景観</b>・薬師川の桜がある</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の歩道が多い</li> </ul> <p><b>自然</b>・田、畑が多いので、夏でも夜は涼しい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くに雑木林、森がある</li> <li>・桃がうまい</li> </ul>	
その他	<p><b>教育</b>・大学がある（短大もある）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中高大、学校がそろっている</li> </ul> <p><b>歴史・伝統</b>・大縣神社がある</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二ノ宮がある</li> <li>・青塚古墳がある</li> <li>・上街道（楽田 羽黒）がある（歴史散歩）</li> </ul>	<p><b>教育</b>・楽田小学校の校舎があまりにも古く、早急な建替えが必要である</p> <p><b>災害</b>・傾斜地が多く土砂崩れが心配である</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽田小学校は災害避難所になっているが、備蓄品がないのではないか？</li> </ul> <p><b>排水問題</b>・用水路及び排水路の整備が必要である</p> <p><b>ごみ</b>・人目に付かない場所にごみが不法投棄されている</p> <p><b>市制</b>・小牧市に合併すべきである</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所からすてられた地区となっている</li> </ul>

池野地域

魅力としては、自然景観の良さといった「自然環境」に関する意見が挙げられています。  
 問題点としては、公共交通の不便さや道路の整備等、「交通体系」に関する意見が多く挙げられています。

【池野地域】

	魅力や愛着	問題点
土地利用		<b>商業施設</b> ・日常の買い物の場所が不足している
交通体系	<b>尾張パークウェイ</b> ・尾張パークウェイが無料になった事はよい	<b>公共交通</b> ・バスなどの交通の充実が必要である ・コミュニティバスは毎年見直しされているが、さらに充実させてほしい <b>狭い道路</b> ・県道 16 号線郷中新橋信号（入鹿）～羽黒間で、小牧東 IC を出たトレーラー等通るが、道が曲がりくねったままなので、拡張してほしい <b>道路維持・管理</b> ・道路横の草刈が必要である <b>街路灯</b> ・街路灯が不足している <b>歩行者・自転車交通</b> ・横断歩道が少ない（県道・地方道） <b>交通量</b> ・IC 取付け道路の為、交通量が増えている（道路拡幅を早くしてほしい）
公園・緑地	<b>名所・レジャー</b> ・八幡キャンプ場がある（川と緑）	<b>公園</b> ・公園や子供の遊び場が不足している
自然環境	<b>景観</b> ・入鹿池からの風景が良い（天気の良い日には御岳山が見える） ・入鹿池が良い <b>生き物</b> ・野鳥が増えてきた	<b>ヒトツバタゴ</b> ・ヒトツバタゴの周りをきれいにしてほしい ・ヒトツバタゴで有名であるが、道路整備及び駐車場を設けていない <b>遊歩道整備</b> ・八幡国有林山歩きされる方は多いが、林野庁も市も遊歩道の整備費用も出さず、忘れられたままとっている
その他		<b>災害</b> ・災害時の連絡網の確保が必要である ・災害時の避難場所を見直しが必要である <b>川整備</b> ・川の整備ができていない（住人ではだめ） <b>ごみ</b> ・入鹿池、八幡国有林等、自然環境に恵まれているがごみ捨て場になっている

## 2 各地域のまちづくり構想

### 1. 犬山地域

#### (1) 地域の現況

##### 人口特性

本地域の平成 22 年現在の人口は、31,059 人であり、本市の人口の 41.0%を占めています。また、人口密度は 34.0 人/ha と市全体の 10.1 人/ha を大きく上回っています。本地域の人口は平成 10 年以降ほぼ横ばいですが、世帯数は毎年増加しています。世帯人員は毎年減少し、平成 22 年には 2.55 人/世帯と市内全地域で最も少なくなっています。本地域の平成 22 年の高齢化率は 22.9%と市全体の 22.6%と同程度となっています。城下町地区周辺、犬山口駅周辺及び犬山遊園駅周辺では、高齢化率が 25%以上と高く、高齢化の進展が顕著にみられます。また、平成 10 年以降高齢化率は年々上昇していますが、年少人口はほぼ横ばいで、生産人口が毎年減少しています。高齢化の進展と世帯人員の減少から、高齢単身者の増加がうかがわれます。

表 犬山地域の基本的指標 (H22)

H22年3月31日現在			
	犬山地域	市全体	市全体に占める割
面積 (ha)	914	7,497	12.2%
人口 (人)	31,059	75,820	41.0%
人口密度 (人/ha)	34.0	10.1	-
世帯数 (世帯)	12,008	27,880	43.1%
高齢者数 (人)	7,127	17,125	41.6%
高齢化率 (%)	22.9	22.6	-

注1)人口は町内会単位の集計結果 注2)世帯数に外国人世帯数は含まない  
 (資料:住民基本台帳及び平成21年度犬山市の統計)

図 犬山地域の人口・世帯数の推移

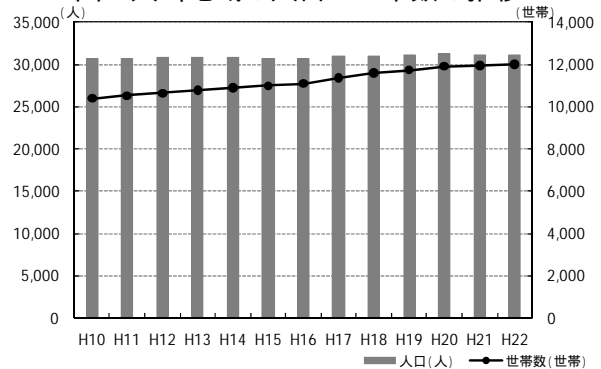
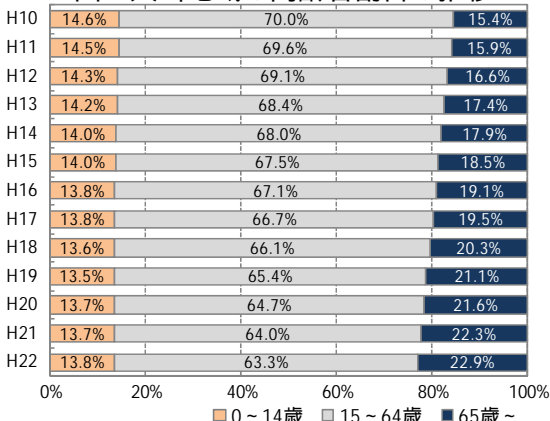


表 犬山地域の人口・世帯数・高齢者の推移

H22年3月31日現在													
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
人口 (人)	30,723	30,690	30,778	30,778	30,867	30,747	30,745	30,925	31,000	31,121	31,223	31,158	31,059
世帯数 (世帯)	10,401	10,525	10,639	10,788	10,909	10,989	11,099	11,361	11,582	11,744	11,918	11,966	12,008
高齢者数 (人)	4,733	4,873	5,114	5,345	5,527	5,702	5,865	6,036	6,284	6,564	6,743	6,944	7,127
世帯人員 (人/世帯)	2.91	2.87	2.85	2.81	2.79	2.76	2.73	2.68	2.64	2.61	2.58	2.57	2.55
人口増加率 (%)	-	-0.1	0.2	0.2	0.5	0.1	0.1	0.7	0.9	1.3	1.6	1.4	1.1
世帯増加率 (%)	-	1.2	2.3	3.7	4.9	5.7	6.7	9.2	11.4	12.9	14.6	15.0	15.5
高齢化率 (%)	15.4	15.9	16.6	17.4	17.9	18.5	19.1	19.5	20.3	21.1	21.6	22.3	22.9

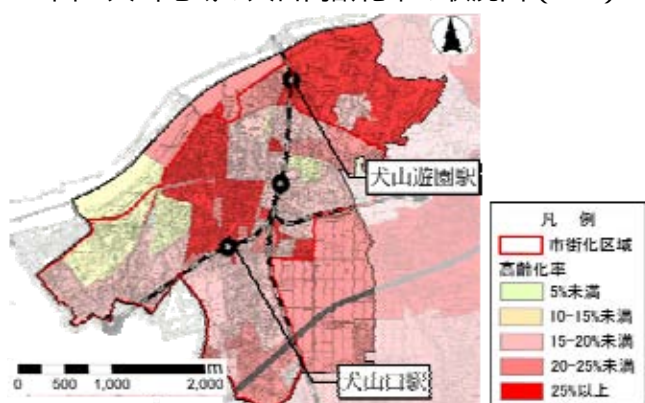
注1)人口は町内会単位の集計結果 注2)世帯数に外国人世帯数は含まない 注3)世帯人員 = 世帯数/人口 (外国人含まない)  
 注4)人口増加率、世帯増加率ともに平成10年度比 注5)高齢化率 = 高齢者数/人口 (資料:住民基本台帳及び外国人登録)

図 犬山地域の高齢者割合の推移



\* 小数点第二位で四捨五入しているため、構成比の合計は 100%とならない。

図 犬山地域の人口高齢化率の状況図 (H18)



(資料: H18 年度都市計画基礎調査)

\* 高齢者 (65 歳以上) 人口が 0 人のゾーンは非表示

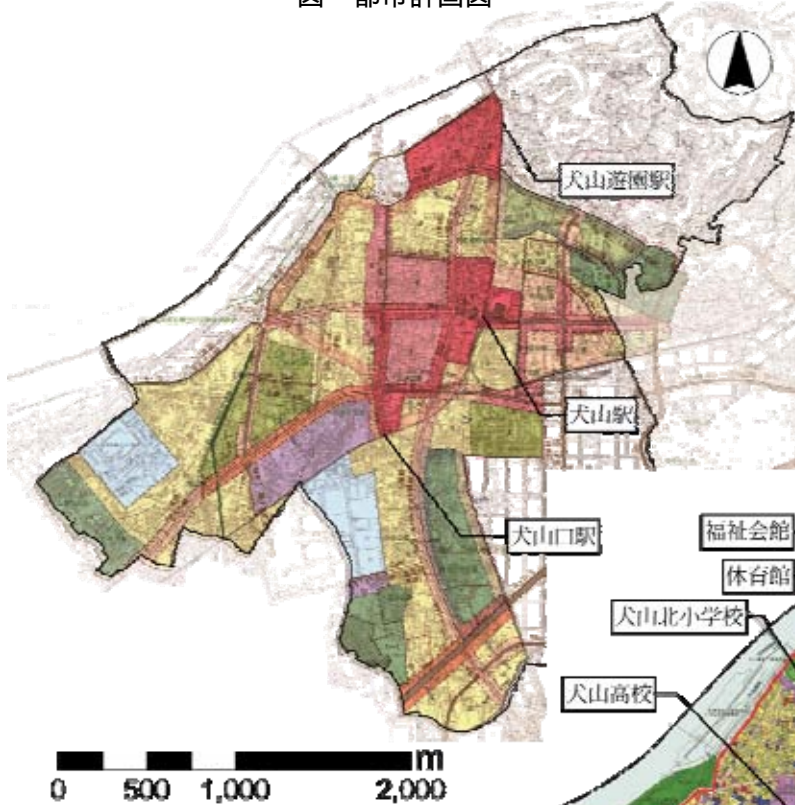
土地利用特性

犬山駅及び犬山口駅周辺では、商業地域や近隣商業地域が定められています。上野地区の一部では、準工業地域が定められています。

市街化区域においては、住宅用地としての土地利用が主体となっていますが、城下町地区周辺では、公共施設用地（体育館、福祉会館、犬山北小学校、犬山南小学校、犬山高校等）が多くみられます。また、地域西側（木津地区、上野地区、橋爪地区、五郎丸地区）では、大規模工場が立地するとともに、中小規模の工業用地がみられます。また、商業施設は犬山駅、犬山口駅周辺や、橋爪・五郎丸地区の(都)犬山大橋線沿道に多く立地しています。

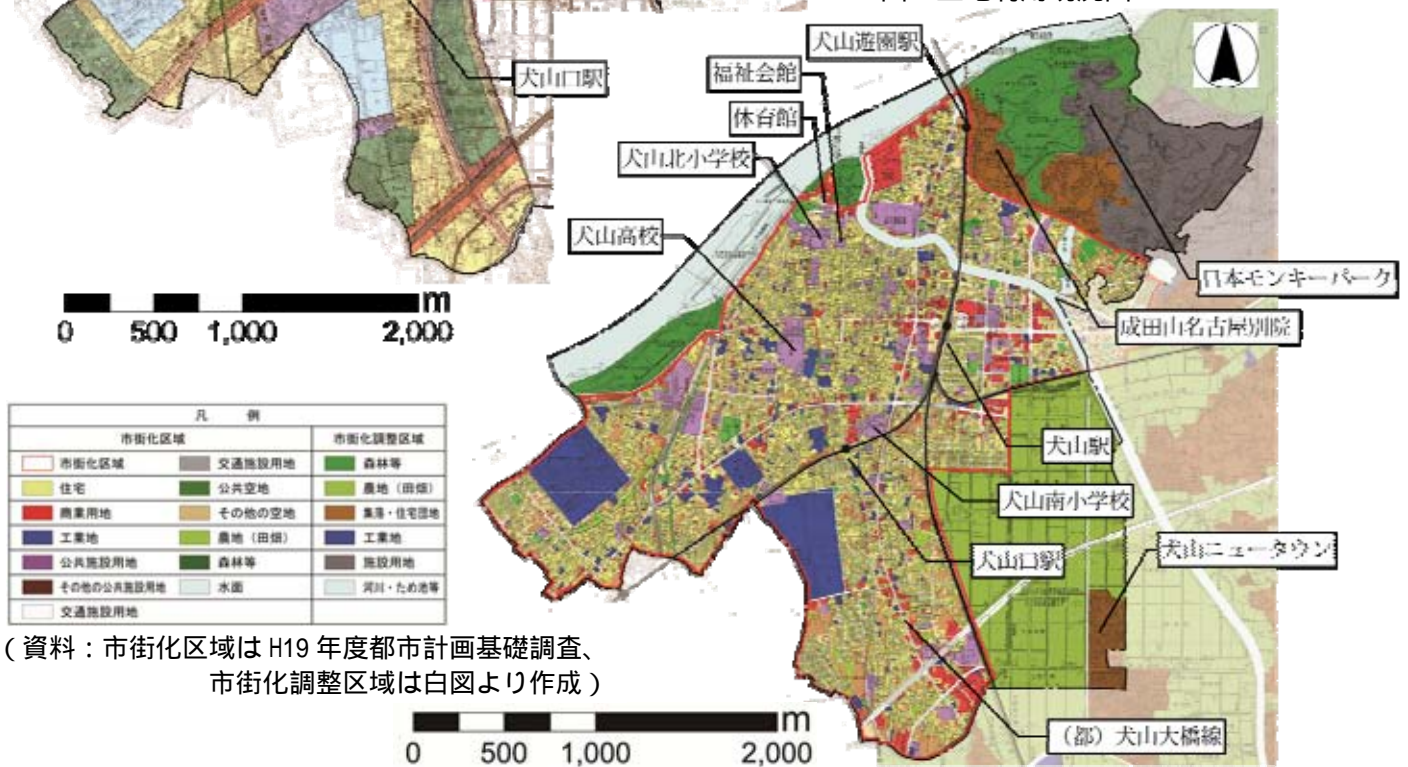
市街化調整区域においては、地域南東部（橋爪地区、五郎丸地区）には優良農地が広がっていますが、一部に住宅団地（犬山ニュータウン）が開発されています。また、地域北東部（犬山地区）の市街化調整区域には、日本モンキーパークや成田山名古屋別院等が立地し、周辺に住宅用地等がみられます。

図 都市計画図



用途	色	説明
住宅	薄紫	住宅用地
商業	赤	商業用地
工業	青	工業用地
公共施設	黄緑	公共施設用地
交通	黒	交通施設用地
農林	緑	農地、森林等

図 土地利用現況図



(資料：市街化区域はH19年度都市計画基礎調査、市街化調整区域は白図より作成)

都市基盤整備の状況

都市計画道路については、(都)成田富士入鹿線、(都)犬山大橋線、(都)橋爪高雄線、(都)浄心線、(都)城前線の全線と、(都)一宮犬山線、(都)草井犬山線、(都)犬山富士線、(都)川端線、(都)犬山口通線の一部が未整備となっています。

犬山駅東側の大半では、土地区画整理事業により、面的整備が完了しています。上坂町や上野新町等において、土地区画整理事業により面的整備が完了していますが、城下町地区や地域南側の橋爪・五郎丸地区では面的整備が行われていません。

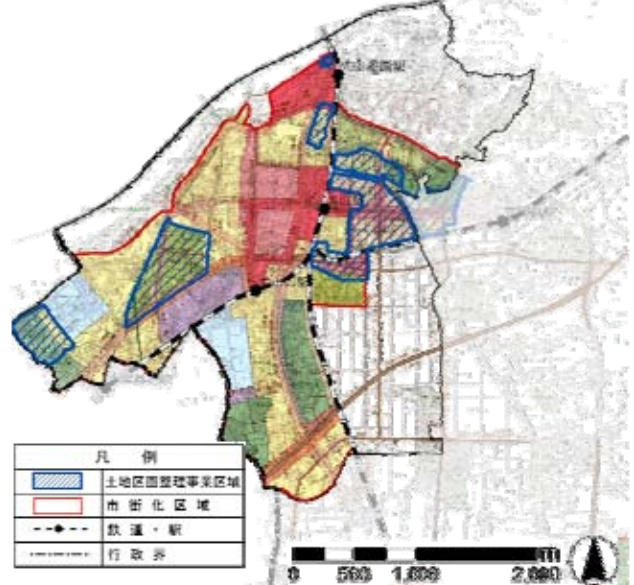
犬山駅東側や上野新町や上坂町といった面的整備が完了した地区は、概ね公園誘致圏に含まれています。その他の市街地及び市街化調整区域では、都市公園(街区公園、近隣公園、地区公園)が不足しています。

図 都市計画道路の整備状況図



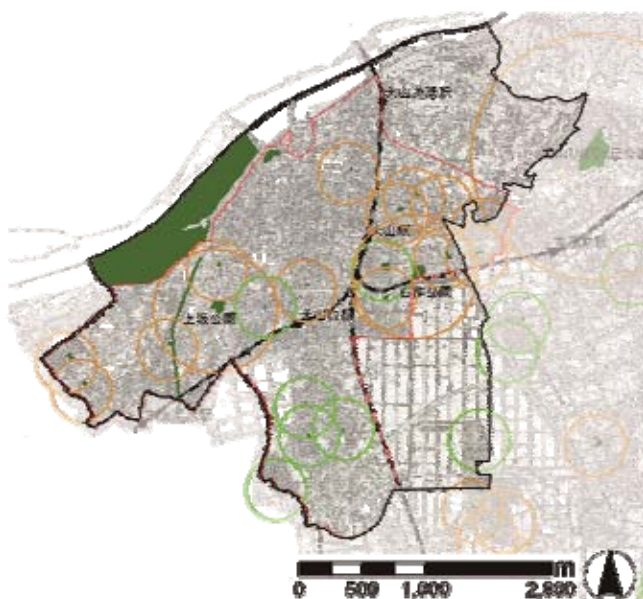
(資料：H22年12月時点の都市計画図をもとに作成)

図 土地区画整理事業の整備状況図



(資料：犬山市都市計画建築課)

図 都市公園の整備状況図



公園誘致圏：都市公園法運用指針における誘致距離の参考値。  
街区公園 250m、近隣公園 500m、地区公園 1000m。

## (2) 全体構想における当該地域の位置づけ

『いつまでも暮らし続けたい都市』を目指して、

- ・城下町地区等においては、地域固有の祭りや伝統芸能を通じた地域コミュニティの維持向上を図ることとしています。
- ・犬山駅及び犬山口駅周辺を都市拠点に位置づけています。
- ・木津地区の国営木曽三川公園尾張緑地（木曽川犬山緑地）周辺を健康づくり・福祉エリアに位置づけています。
- ・健康づくり・福祉エリアにつながる木曽川沿いや木津用水沿い等を歩行者・自転車ネットワークに位置づけています。
- ・公共交通による拠点間等のネットワーク化により、誰もが快適に移動できる交通環境の確保を図ることとしています。

『基盤が整い、活力を創出する都市』を目指して、

- ・犬山駅及び犬山口駅周辺を都市拠点に位置づけています。
- ・国道 41 号及び(都)犬山大橋線、(都)一宮犬山線、(都)草井犬山線、(都)犬山富士線、(都)城前線、(都)成田富士入鹿線、(都)川端線を拠点間等を結び円滑な都市活動を支える幹線道路に位置づけています。

『交流を生み、にぎわいがあふれる都市』を目指して、

- ・城下町地区及び犬山駅・犬山遊園駅周辺を、歴史文化を礎とした観光・交流拠点に位置づけています。
- ・国営木曽三川公園尾張緑地（木曽川犬山緑地）周辺を市民交流エリアに位置づけています。また、このエリアにつながる木曽川沿いや木津用水沿い等を歩行者・自転車ネットワークに位置づけています。

『自然や環境と調和する都市』を目指して、

- ・城下町地区における歴史的景観や木曽川沿いの水辺景観の保全と形成を図ることとしています。
- ・木曽川沿いや木津用水沿い等については、歩行者・自転車ネットワークを利用した水と緑のネットワークに位置づけています。
- ・地域南東部を農地ゾーンに、日本モンキーセンター・モンキーパーク周辺を森林・里山ゾーンに位置づけています。

### (3) 地域のまちづくり課題

地域住民意向や地域の現況、全体構想における当該地域の位置づけ等を踏まえ、本地域におけるまちづくり上の主要課題を、全体構想における「都市づくりの目標」の視点ごとに整理します。

#### 「暮らし」の視点

---

- ・都市拠点として位置づけた犬山駅・犬山口駅周辺においては、居住・生活の場、就業の場、にぎわいの場の形成に向け、多様な都市機能の集積を高めることが必要です。
- ・城下町地区においては、歴史的な建造物や町並み、それらを舞台とした犬山祭をはじめとする伝統文化を後世に継承していくためには、地域に根差した生活文化や地域コミュニティ、その背景となる市街地環境（歴史的風致）の維持・向上を図るとともに、防災機能の強化を図ることが必要です。
- ・特に、城下町地区及びその周辺では高齢化が顕著に進む状況がみられることから、高齢者の暮らしを支える生活環境の形成を図ることが必要です。
- ・3つの駅（犬山駅、犬山口駅、犬山遊園駅）を有する本地域の特性を生かし、過度に自動車交通に頼らなくても暮らし続けることができるよう、各駅を中心に交通結節機能の強化を図るとともに、公共交通や徒歩などでの快適な移動環境を確保していくことが必要です。
- ・健康づくり・福祉エリアに位置づけた国営木曾三川公園尾張緑地（木曾川犬山緑地）を中心に、市民の健康な暮らしを支える生活環境の形成を図ることが必要です。
- ・橋爪・五郎丸地区や丸山地区等の都市基盤施設が未整備な市街地には多くの都市的低・未利用地が残ることから、これら都市的低・未利用地の宅地化の促進や緑地・広場等としての有効活用を図ることが必要です。
- ・上野地区や上坂地区等の都市基盤施設が整備された市街地では、生活道路等の整った基盤施設を維持しつつ、さらなる居住環境の向上を図ることが必要です。

#### 「活力」「交流・にぎわい」の視点

---

- ・都市拠点の犬山駅・犬山口駅周辺においては、多様な都市機能の立地を支える都市基盤施設の整備を進めることが必要です。
- ・歴史文化を礎とした観光・交流拠点に位置づけた城下町地区周辺一帯においては、町並み景観や地域住民の暮らしぶりを含め、まち全体での魅力の向上を図ることが必要です。
- ・城下町地区のにぎわいや交流を促進するためには、自動車交通の過度な進入の抑制や観光交通による交通混在の解消を図る必要があり、そのためには外郭を形成する都市計画道路の整備等を進めることが必要です。



### 「自然・環境」の視点

---

- ・地域南東部の一団のまとまりある農地については、その保全・活用を図ることが必要です。
- ・本地域にみられる都市的低・未利用地のうち、貴重な緑地空間として機能している土地については、その機能の保全・管理・活用を図ることが必要です。

(4) 地域のまちづくり目標と方針

当該地域におけるまちづくり上の主要課題を踏まえ、当該地域が目指すまちづくり目標を以下のように定めるとともに、その実現に向けたまちづくりの方針を示します。

<まちづくり目標>

**楽しく歩ける安全・安心なまち**

本地域では、地域住民のみならず犬山城や城下町地区を訪れる多くの来訪者が安心して、楽しく歩くことができるまちを目指すとともに、高齢者をはじめ誰もが安全で安心して暮らし続けたいまちを目指します。



<目標実現に向けたまちづくりの方針>

城下町地区では、安全で安心して歩ける歩行空間の整備を進めるとともに、周辺部での駐車場設置や自動車を目的地まで適切に誘導するためのサインの設置等を検討し、地区内への過度な自動車交通の進入を抑制します。

城下町地区への通過交通の過度な進入を抑制するため、県への要望を通じ、(都)成田富士入鹿線の整備を促進します。

木曾川沿い地域～犬山遊園駅～犬山城・城下町地区～犬山駅・犬山口駅までの回遊性を高めるような拠点づくりや、サイン計画に基づいて歴史的な景観に調和した統一感のあるデザインや色彩を有するサインの設置等を進めます。

木曾川沿い(上流部)での歩行空間の確保を検討するとともに、下流部では、国・県・近隣市町と連携しながら、遊歩道やサイクリングロード等の整備を進めます。

国営木曾三川公園尾張緑地(木曾川犬山緑地)の利用促進に向け、国・県と連携した施設整備を検討します。

県への要望を通じて、尾張広域緑道の整備を促進します。

健康づくり・福祉エリアの国営木曾三川公園尾張緑地(木曾川犬山緑地)の整備・充実を図りつつ、公共交通や徒歩等でのアクセス利便性の向上及び当該エリアを含めた各エリア間をつなぐ歩行者ネットワークの形成を図ります。

犬山口駅前広場及び犬山遊園駅前広場の整備を目指し、検討を進めます。

各拠点・鉄道駅等へのアクセス利便性の向上や高齢者の買い物支援等に向け、路線バス・コミュニティバス路線網の強化・充実等により、利便性の向上を図ります。

五郎丸地区(建ぺい率 30%、容積率 50%が定められ、計画的に都市基盤を整備すべき地区)において、都市基盤の整備促進を図ります。

良好な住環境の形成を目指し、橋爪・五郎丸地区計画区域及び丸山地区計画区域等においては、生活道路や身近な公園の整備等の市街地整備を促進します。

上野地区において、市営住宅の集約を図ります。

犬山地区東部の福祉施設が集積したエリアにおいて、養護老人ホームの改築等、福祉施設の整備を検討します。

基盤未整備市街地での都市的低・未利用地の宅地化や都市基盤整備（排水対策等）を進めるとともに、自動車の速度抑制や地区内への過度な進入の抑制に配慮しながら、地権者等の関係者の協力を得て、狭あい道路等の生活道路の整備・改善を進めます。

五条川右岸処理区（上坂地区、橋爪・五郎丸地区、上野地区、三笠地区）において、下水道整備を促進します。

#### <まちづくり目標>

**地域の歴史・文化や人のつながりが守られ  
みんなが訪れたくなるまち**

本地域では、地域固有の歴史・文化資源や地域に根差した生活文化や地域コミュニティ、その背景となる市街地環境（歴史的風致）が大切に守られ、より多くの人々が訪れたくなるまちを目指します。



#### <目標実現に向けたまちづくりの方針>

城下町地区では、関連計画に基づき歴史・文化資源等の保全・活用を図るとともに、愛着・親しみ・誇りの持てる景観形成を図ります。また、伝統的建造物群保存地区の指定を目指し、検討を進めます。

歴史的風致維持向上計画重点区域においては、本市固有の歴史的風致の維持・向上を図るため、歴史的建造物の修理・復原や歩行空間の整備、景観形成等を図るとともに、地域の実情に応じた防災対策を実施します。

「犬山城城郭調査・史跡指定」及び「犬山城世界遺産登録」に向けた取組みを進めるとともに、名勝木曾川の指定地となっている国宝犬山城及びその周辺地域での良好な景観の保護に努めます。

安全で安心して歩ける歩行環境の創出とともに、生活の利便性や下本町地区等における地域活性化に向けたまちづくりの視点から、(都)犬山口通線の計画変更（見直し）・整備を検討します。

県道犬山自然公園線（尾張パークウェイ）を經由し、岐阜県各務原市方面と国道 41 号を結ぶ自動車交通や地域北部の観光施設等へ集中する自動車交通の混雑の解消に向け、県への要望を通じ、県道犬山自然公園線の整備（延伸）を促進します。

体育館の跡地利用の検討を進めるとともに、福社会館の移転及びその後の跡地利用を検討します。

東之宮古墳を史跡公園として整備を進めます。

地域コミュニティを維持し、育むため、身近なまちづくり・計画づくりへの住民参加や住民参加による公園等の維持管理などの取組みを進めます。

<まちづくり目標>

**玄関口にふさわしいにぎわいと新たな活力が生まれるまち**

本地域では、都市拠点である犬山駅周辺を中心に、様々な交流やふれあいを創出し、にぎわいと活力あふれるまちを目指します。



<目標実現に向けたまちづくりの方針>

犬山駅及び犬山口駅周辺では、民間活力を生かした遊休地の有効利用を図ります。

犬山駅及び犬山口駅周辺では、駅前広場等の都市基盤施設の整備・改善や商業活性化施設との連携を通じ、民間開発等にあわせた居住機能や医療・福祉機能の維持・導入を促進します。

犬山駅周辺では、駐車場や自転車駐車場の充実を図ります。

国道 41 号の 6 車線化や名古屋高速道路の延伸など、国への働きかけを通じて、名濃バイパスの整備促進を図ります。

地域内での自動車交通を円滑に処理するため、以下の都市計画道路等幹線道路の整備等を進めます。(【 】内は本市以外の事業主体)

- ・(都)川端線の整備
- ・(都)犬山富士線の整備
- ・(都)橋爪高雄線の整備
- ・主要地方道春日井各務原線の整備 【県】
- ・県道栗栖犬山線の道路拡幅・歩道整備 【県】
- ・県道御嵩犬山線の整備 【県】
- ・県道浅井犬山線の道路拡幅・歩道整備 【県】

# 犬山地域のまちづくり方針図

歴史的風致維持向上計画重点区域  
 安全で安心して歩ける歩行空間の整備  
 城下町周辺部での駐車場設置やサインの設置等の検討  
 木曾川沿い地域～犬山遊園駅～犬山城・城下町地区～犬山駅・犬山口駅までの回遊性を高めるような拠点づくりやサイン設置等  
 関連計画に基づく歴史・文化資源等の保全・活用  
 愛着・親しみ・誇りの持てる景観形成  
 歴史的建造物の修理・復原や歩行空間の整備  
 伝統的建造物群保存地区指定を目指した景観形成検討  
 地域の実情に応じた防災対策の実施

「犬山城城郭調査・史跡指定」、「犬山城世界遺産登録」に向けた取組みの推進  
 国宝犬山城及びその周辺地域での良好な景観の保護

体育館跡地利用検討

犬山遊園駅前広場の整備を目指した検討

県道栗栖犬山線道路拡幅・歩道整備の促進[県への要望]

県道犬山自然公園線の整備（延伸）の促進[県への要望]

史跡公園としての整備の推進

福祉会館移転及び跡地利用の検討

主要地方道春日井各務原線整備の促進[県への要望]

養護老人ホームの改築等、福祉施設の整備の検討

(都)成田富士入鹿線の整備の促進[県への要望]

市街地の整備の推進

県道御嵩犬山線整備の促進[県への要望]

民間活力を生かした遊休地の有効活用  
 駅前広場等の都市基盤施設の整備・改善や商業活性化施設との連携  
 “まちなか居住”機能や医療・福祉機能の維持・導入を促進  
 犬山駅周辺の駐車場や自転車駐車場の充実

市街地の整備の促進

【地域全体】  
 健康づくり・福祉エリア間をつなぐ歩行者ネットワークの形成  
 路線バス・コミュニティバス路線網の強化・充実等による利便性の向上  
 基盤未整備市街地での都市的低・未利用地の宅地化及び都市基盤整備（排水対策等）の推進  
 狭い道路等の生活道路の整備・改善の推進  
 五条川右岸処理区での下水道整備の促進  
 身近なまちづくり・計画づくりへの住民参加や住民参加による公園等の維持管理などの取組みの推進

尾張広域緑道の整備の促進[県への要望]

(都)川端線整備の推進

木曾川沿い(上流部)での歩行空間の確保の検討  
 木曾川沿い(下流部)では国・県、近隣市町と連携した遊歩道やサイクリングロード等の整備の推進

国営木曾三川公園尾張緑地（木曾川犬山緑地）の利用促進に向け国・県と連携した施設整備検討

県道浅井犬山線道路拡幅・歩道整備の促進[県への要望]

(都)犬山口通線計画変更（見直し）・整備検討

犬山口駅前広場の整備を目指した検討

(都)橋爪高雄線整備の推進

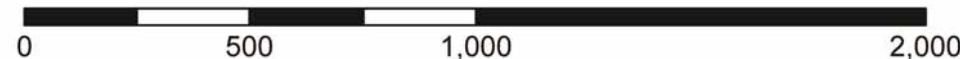
市営住宅の集約

(都)犬山富士線整備の推進

計画的な都市基盤の整備の推進

名濃道路の整備の促進[国への要望]

凡例		
市街化区域	市街化調整区域	その他
低層専用住宅地	森林等	都市計画道路
専用住宅地	農地	鉄道駅
住宅地	集落・住宅団地	市街化区域
沿道住宅地	工業地	地区計画区域
住商複合地	施設用地	暫定用途地域(50/30)が定められた区域
商業業務地	河川・ため池等	歴史的風致維持向上計画重点地区
住工混合地		
工業地		





## 2. 城東地域

### (1) 地域の現況

#### 人口特性

本地域の平成22年現在の人口は、14,240人であり、本市の人口の18.8%を占めています。

また、人口密度は4.9人/haと市全体の10.1人/haの半分以下となっています。

本地域の人口及び世帯数は善師野地区の住宅開発等により毎年増加していますが、世帯増加率がより高くなっており、平成22年においては平成10年の1.35倍となっています。また、世帯人員についても毎年減少し、平成22年においては、2.80人/世帯となっています。

本地域の平成22年の高齢化率は21.3%と市全体の22.6%より低くなっています。善師野地区の四季の丘・もえぎヶ丘等の住宅団地は高齢化率が5%未満と非常に低くなっていますが、善師野地区及び塔野地区では25%と非常に高くなっています。新しい住宅団地による若い世代の増加と古くからの集落地での高齢化という二極化がうかがわれます。

表 城東地域の基本的指標 (H22)

	H22年3月31日現在		
	城東地域	市全体	市全体に占める割合
面積 (ha)	2,918	7,497	38.9%
人口 (人)	14,240	75,820	18.8%
人口密度 (人/ha)	4.9	10.1	-
世帯数 (世帯)	5,028	27,880	18.0%
高齢者数 (人)	3,036	17,125	17.7%
高齢化率 (%)	21.3	22.6	-

注1)人口は町内会単位の集計結果 注2)世帯数に外国人世帯数は含まない  
 (資料:住民基本台帳及び平成21年度犬山市の統計)

図 城東地域の人口・世帯数の推移

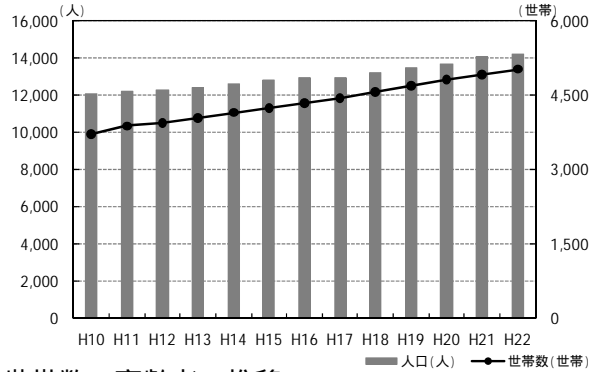
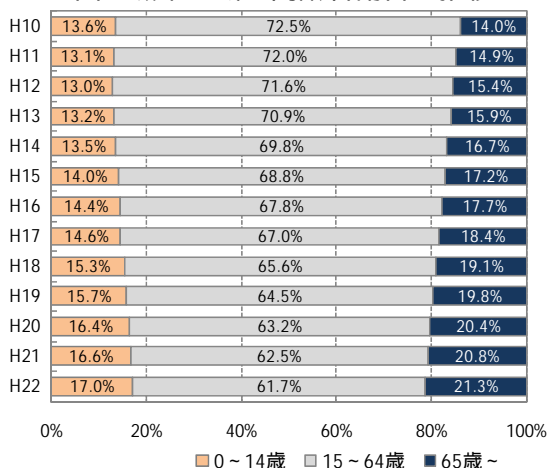


表 城東地域の人口・世帯数・高齢者の推移

	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
人口 (人)	12,100	12,212	12,281	12,437	12,632	12,818	12,928	12,959	13,212	13,466	13,701	14,053	14,240
世帯数 (世帯)	3,719	3,880	3,941	4,046	4,152	4,242	4,339	4,435	4,561	4,698	4,810	4,924	5,028
高齢者数 (人)	1,689	1,819	1,897	1,979	2,114	2,210	2,291	2,387	2,527	2,667	2,794	2,929	3,036
世帯人員 (人/世帯)	3.24	3.13	3.10	3.06	3.03	3.01	2.96	2.91	2.88	2.85	2.83	2.82	2.80
人口増加率 (%)	-	0.9	1.5	2.8	4.4	5.9	6.8	7.1	9.2	11.3	13.2	16.1	17.7
世帯増加率 (%)	-	4.3	6.0	8.8	11.6	14.1	16.7	19.3	22.6	26.3	29.3	32.4	35.2
高齢化率 (%)	14.0	14.9	15.4	15.9	16.7	17.2	17.7	18.4	19.1	19.8	20.4	20.8	21.3

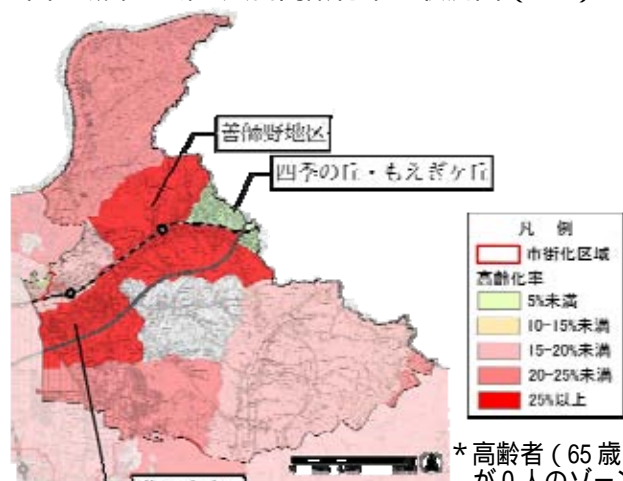
注1)人口は町内会単位の集計結果 注2)世帯数に外国人世帯数は含まない 注3)世帯人員 = 世帯数/人口(外国人含まない)  
 注4)人口増加率、世帯増加率ともに平成10年度比 注5)高齢化率 = 高齢者数/人口 (資料:住民基本台帳及び外国人登録)

図 城東地域の高齢者割合の推移



\* 小数点第二位で四捨五入しているため、構成比の合計は100%とならない。

図 城東地域の人口高齢化率の状況図 (H18)



\* 高齢者 (65歳以上)人口が0人のゾーンは非表示

(資料: H18年度都市計画基礎調査)

土地利用特性

富岡地区の一部が市街化区域となっていますが、地域の大部分が市街化調整区域です。

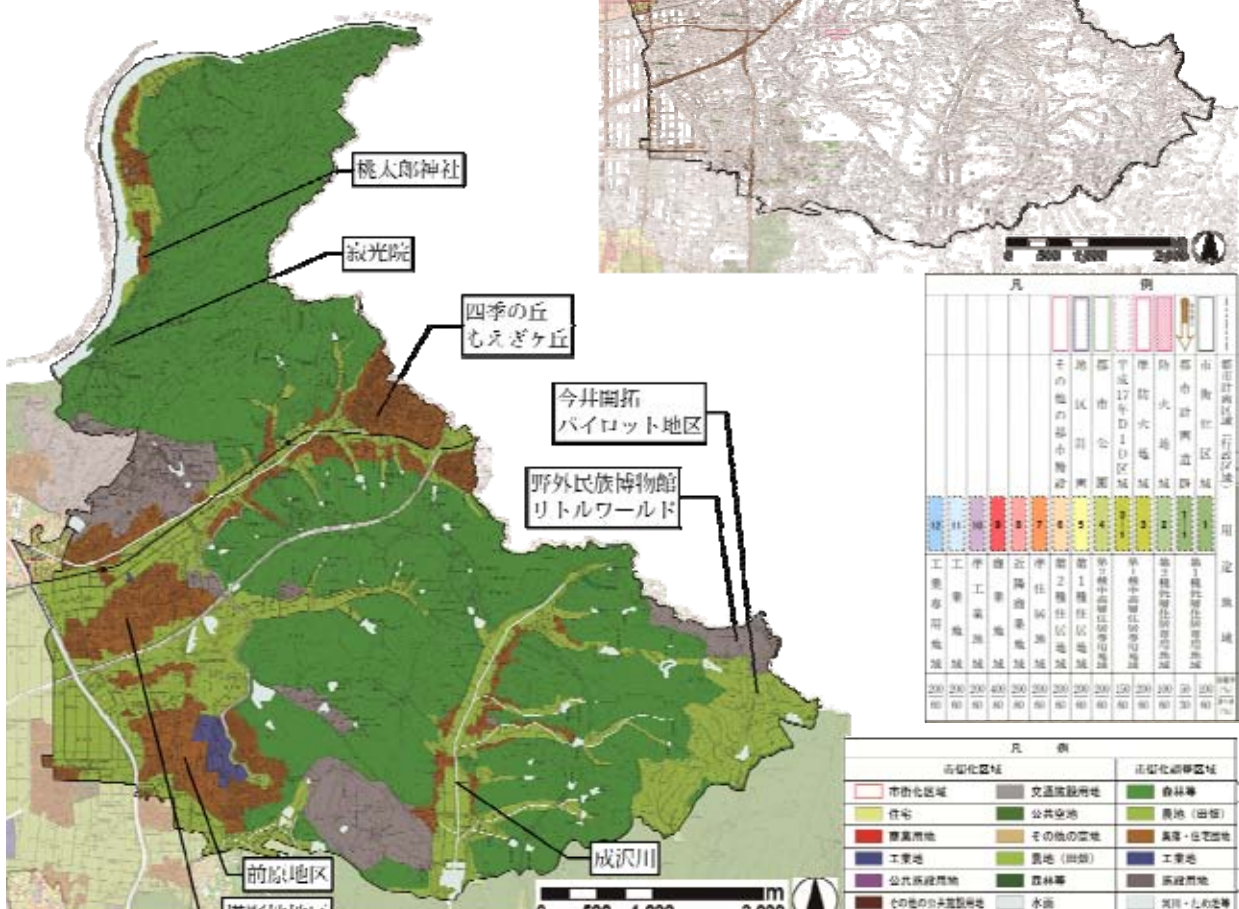
市街化区域内においては、住宅用地としての土地利用が主体となっています。

市街化調整区域においては、名鉄沿線や塔野地・前原地区等に大きな集落地がみられ、地域東側(善師野地区)に住宅団地(四季の丘、もえぎヶ丘等)が開発されています。また、前原地区に大規模工場が立地し、地域東部(今井地区)には多くの観光客が訪れる野外民族博物館リトルワールドが、地域北部(継鹿尾地区、栗栖地区)には寂光院、桃太郎神社が立地していますが、地域の大半は、森林となっています。地域西側(塔野地地区、前原地区)や今井地区の成沢川周辺等に優良農地が広がり、地域東側(今井地区)に今井開拓パイロット地区がみられます。

図 都市計画図



図 土地利用現況図



(資料：H19年度都市計画基礎調査及び白図により作成)



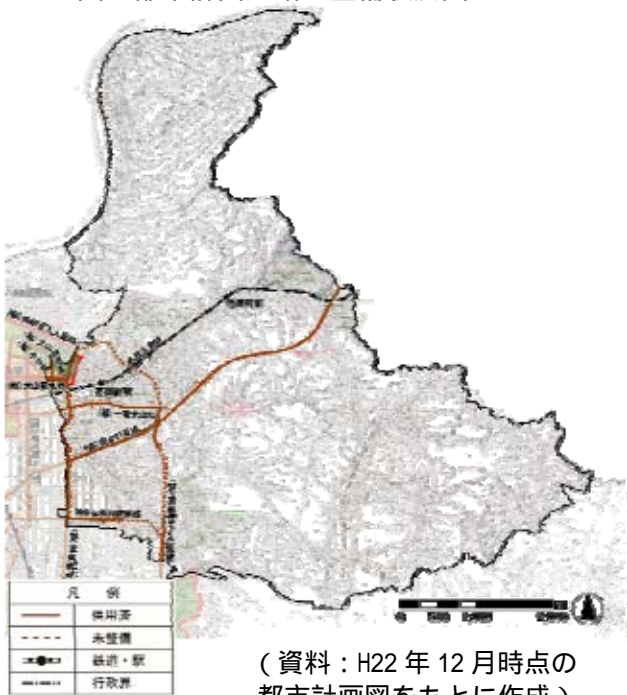
都市基盤整備の状況

都市計画道路としては、(都)成田富士入鹿線及び(都)五郎丸前原線の一部が未整備となっています。

市街化区域は、土地区画整理事業により、面的整備が完了しています。

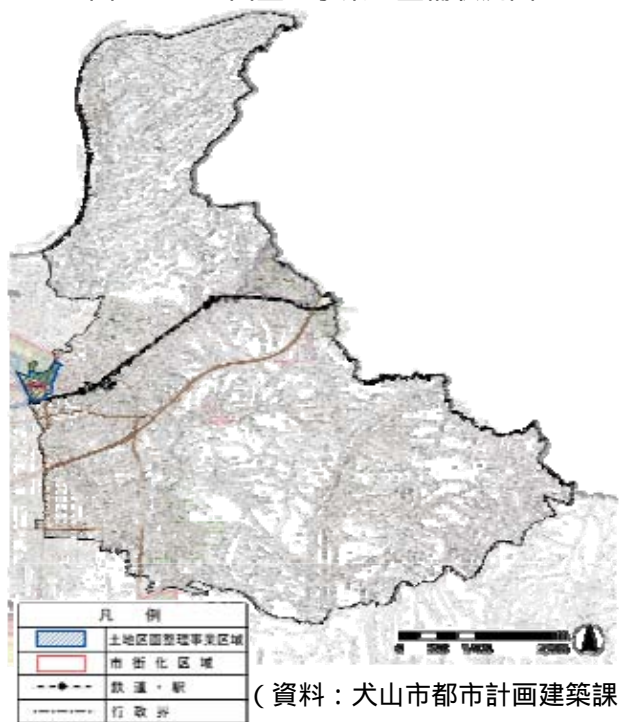
市街化区域内は、公園誘致圏に含まれています。市街化調整区域においては、富岡地区の犬山ひばりヶ丘公園周辺や前原台団地の大半が公園誘致圏に含まれています。栗栖地区、善師野地区、今井地区は都市公園(街区公園、近隣公園、地区公園)が不足しています。

図 都市計画道路の整備状況図



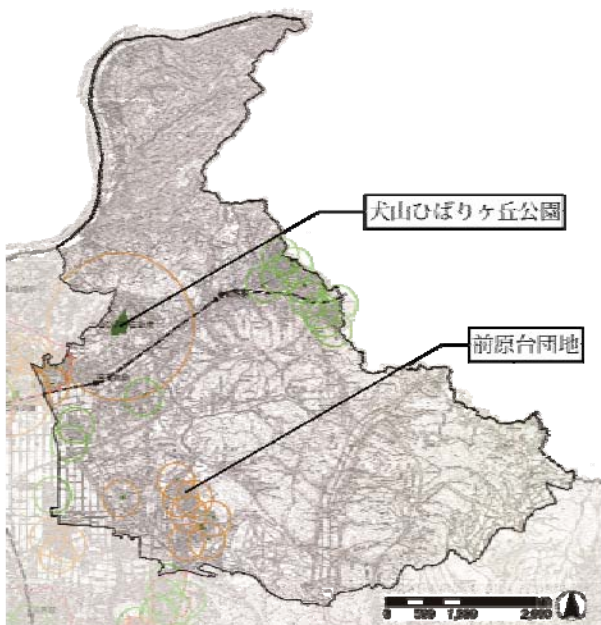
(資料：H22年12月時点の都市計画図をもとに作成)

図 土地区画整理事業の整備状況図



(資料：犬山市都市計画建築課)

図 都市公園の整備状況図



公園誘致圏：都市公園法運用指針における誘致距離の参考値。  
街区公園 250m、近隣公園 500m、地区公園 1000m。

凡例	
<span style="color: green;">■</span>	公園・緑地
<span style="color: yellow;">○</span> <span style="color: green;">○</span>	公園誘致圏
<span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	市街化区域
- - ● - -	鉄道・駅
- - - - -	行政界

(2) 全体構想における当該地域の位置づけ

『いつまでも暮らし続けたい都市』を目指して、

- ・ 東部の丘陵地にある犬山ひばりヶ丘公園周辺及びさら・さくら周辺を健康づくり・福祉エリアに位置づけています。
- ・ 木曽川、郷瀬川沿い、東海自然歩道及び主要地方道春日井犬山線等を歩行者・自転車ネットワークに位置づけています。
- ・ 公共交通による拠点間等のネットワーク化により、誰もが快適に移動できる交通環境の確保を図ることとしています。

『基盤が整い、活力を創出する都市』を目指して、

- ・ 塔野地地区の国道 41 号沿い及び既存工業地の周辺を新たな産業拠点に位置づけています。
- ・ 国道 41 号及び(都)一宮犬山線、(都)五郎丸前原線、(都)成田富士入鹿線、(都)富岡荒井線を拠点間等を結び円滑な都市活動を支える幹線道路に位置づけています。

『交流を生み、にぎわいがあふれる都市』を目指して、

- ・ 犬山ひばりヶ丘公園周辺及びさら・さくら周辺を市民交流エリアに位置づけています。
- ・ 東部の丘陵地にみられる観光・レクリエーション施設や点在する住宅団地や集落地について、国道 41 号や尾張パークウェイ等により、市街地とのネットワーク化を図ることとしています。
- ・ 木曽川、郷瀬川沿い及び主要地方道春日井犬山線等を歩行者・自転車ネットワークに位置づけています。

『自然や環境と調和する都市』を目指して、

- ・ 木曽川沿いの水辺景観、東部の丘陵地における里山景観の保全と形成を図ることとしています。
- ・ 木曽川、郷瀬川沿い及び主要地方道春日井犬山線等については、歩行者・自転車ネットワークを利用した水と緑のネットワークに位置づけています。
- ・ 栗栖地区、善師野地区及び今井地区の東側の丘陵地を森林・里山ゾーンに、名鉄沿線を農地ゾーンに位置づけています。

### (3) 地域のまちづくり課題

地域住民意向や地域の現況、全体構想における当該地域の位置づけ等を踏まえ、本地域におけるまちづくり上の主要課題を、全体構想における「都市づくりの目標」の視点ごとに整理します。

#### 「暮らし」の視点

- ・健康づくり・福祉エリアに位置づけた犬山ひばりヶ丘公園やさら・さくら周辺を中心に、市民の健康な暮らしを支え、健康づくりに寄与するよう、さらなる機能の充実を図ることが必要です。
- ・地域の東部の丘陵地等を中心に、土砂災害が懸念される箇所がみられることから、これら防災対策を進め、都市防災性の向上を図ることが必要です。
- ・本地域では四季の丘をはじめ、一団の住宅団地や集落地が点在しており、これら地区においては身近な生活環境の充実を図り、これまで育まれてきた地域コミュニティを維持していくことが必要です。
- ・高齢化が顕著に進むことが想定される一団の住宅団地や集落地においては、過度に自動車交通に頼らなくても暮らし続けることができるよう、公共交通や徒歩などでの快適な移動環境を確保していくことが必要です。
- ・若年ファミリー世帯が多い四季の丘等では、距離のある小中学校へ子どもたちが徒歩で通学しており、こうした通学環境の改善を図ることが必要です。

#### 「活力」「交流・にぎわい」の視点

- ・新たな産業拠点に位置づけた国道41号沿道（塔野地地区）においては、広域的な交通利便性を生かして、本地域のみならず市全体の活力向上につながるような新たな産業機能の導入を促進することが必要です。
- ・本地域と周辺地域との連絡を強化するとともに、新たな産業拠点や地域内に点在する資源等を結び、円滑な都市活動を支えるために必要な広域的な道路網の充実を図ることが必要です。
- ・地域東部の今井開拓パイロット地区においては、産業振興の観点から、その有効活用・活性化を図ることが必要です。また、地域内にみられる耕作放棄地等についても、有効活用を図り、地域の活性化につなげていくことが必要です。
- ・地域固有の資源を生かした交流の創出・にぎわいづくりに向けては、木曾川沿いに多くみられる歴史資源や観光資源への徒歩や自転車等でのアクセス利便性を高めることが必要です。また、既存の道路網等を活用しながら、地域東部に点在する観光・自然資源のネットワークを強化することが必要です。

#### 「自然・環境」の視点

- ・地域東部の丘陵地に広がる緑地や一団のまとまりある農地については、その保全を図ることが必要です。
- ・地域東部の緑地の保全に向けては、緑を守り、育むような市民の気運を高める取組みを進めることが必要です。

(4) 地域のまちづくり目標と方針

当該地域におけるまちづくり上の主要課題を踏まえ、当該地域が目指すまちづくり目標を以下のように定めるとともに、その実現に向けたまちづくりの方針を示します。

<まちづくり目標>

**子どもからお年寄りまでが安心して安全に暮らせるまち**

本地域では、高齢者をはじめ誰もが快適に移動できるなど、一団の住宅団地や集落地に住むすべての人が安心して安全に暮らすことができるまちを目指します。



<目標実現に向けたまちづくりの方針>

木曽川沿いでの歩行空間の確保の検討を進め、木曽川沿いを中心とした遊歩道等の整備を進めます。

さら・さくらを中心として、自然環境に配慮しつつ、土地所有者・管理者と協調しながら、塔野地・前原地区の市民交流、健康づくり・福祉エリアの整備・充実を図ります。

犬山ひばりヶ丘公園やさら・さくら周辺の健康づくり・福祉エリアの整備・充実を図りつつ、公共交通や徒歩等でのアクセス利便性の向上及び当該エリアを含めた各エリア間をつなぐ歩行者ネットワークの形成を図ります。

新郷瀬川沿いの桜並木等を活用して、歩行者ネットワークの形成を図ります。

各拠点・鉄道駅等へのアクセス利便性の向上や高齢者の買い物支援等に向け、路線バス・コミュニティバス路線網の強化・充実等により、利便性の向上を図ります。

犬山ひばりヶ丘公園の利用促進を目指し、施設の整備拡充を検討します。

岩田公園の整備を進めます。

集落地等において、自動車の速度抑制や地区内への過度な進入の抑制に配慮しながら、地権者等の関係者の協力を得て、狭あい道路等の生活道路の整備・改善を進めるとともに、生活道路の改善及び基盤施設の整備を通じて、日常生活に必要な生活利便施設等の立地を促します。

県への要望を通じ、急傾斜地崩壊対策（片洞地区）及び土石流危険渓流対策（細洞沢）を促進するとともに、砂防河川（虎熊川及び落洞南池川）、郷瀬川及び新郷瀬川の改修を促進します。

子どもたちの通学時における安全性確保に向けた取組みを検討します。

地域東部に点在する集落地においては、その地域での暮らし方やそのための土地利用の方向性、地区施設整備のあり方等、今後の集落地のあり方を地域住民とともに検討します。

## &lt;まちづくり目標&gt;

**豊かな自然・住みやすさと調和しながら  
新たな活力・にぎわいが育まれるまち**

本地域では、北部から東部にかけて広がる森林や農地等の豊かな自然を守り・育むとともに、これら豊かな自然との調和を図りつつ、本地域のみならず市全体の持続的な発展を支える新たな活力・にぎわいが育まれるまちを目指します。



## &lt;目標実現に向けたまちづくりの方針&gt;

塔野地地区において、本地区を取り巻く豊かな自然や周辺環境との調和に配慮しながら、新たな産業用地の形成を図ります。

新たな産業用地の形成を支援するため、県への要望を通じ、(都)成田富士入鹿線の整備を促進します。

国道 41 号の 6 車線化や名古屋高速道路の延伸など、国への働きかけを通じて、名濃バイパスの整備促進を図ります。

県道犬山自然公園線（尾張パークウェイ）を經由し、岐阜県各務原市方面と国道 41 号を結ぶ自動車交通や地域北西部の観光施設等へ集中する自動車交通の混雑の解消に向け、県への要望を通じ、県道犬山自然公園線の整備（延伸）を促進します。

国際交流村を中心とした施設の利活用を検討します。

今井地区の廃棄物処分場跡地の活用を検討します。

民間の農業関連企業の誘致等により、今井開拓パイロットの活性化を推進するとともに、土地利用規制が緩い地区等において地域の活性化のための土地利用を検討します。

要望活動を通じながら、木曾川新橋の架設を目指し、検討を進めます。

地域内での自動車交通を円滑に処理するため、以下の都市計画道路等幹線道路の整備等を進めます。（【 】内は本市以外の事業主体）

- ・(都)五郎丸前原線整備 【県】
- ・県道御嵩犬山線整備（歩道設置） 【県】
- ・県道栗栖犬山線整備 【県】
- ・県道長洞犬山線整備 【県】

東海自然歩道において、案内標識、公衆便所等の施設や安全に歩くことのできる歩道の改修整備を県と連携して進めます。

東部の丘陵地に広がる森林やまとまりある優良な農地の保全を図ります。

東部丘陵の緑地保全及び市民や来訪者が里山の豊かな自然を体感し、里山づくりや保全活動にも参加できるような機会の提供を図ります。

中島池・新池周辺のビオトープを活用し、自然と気軽にふれあえる場の確保を図ります。

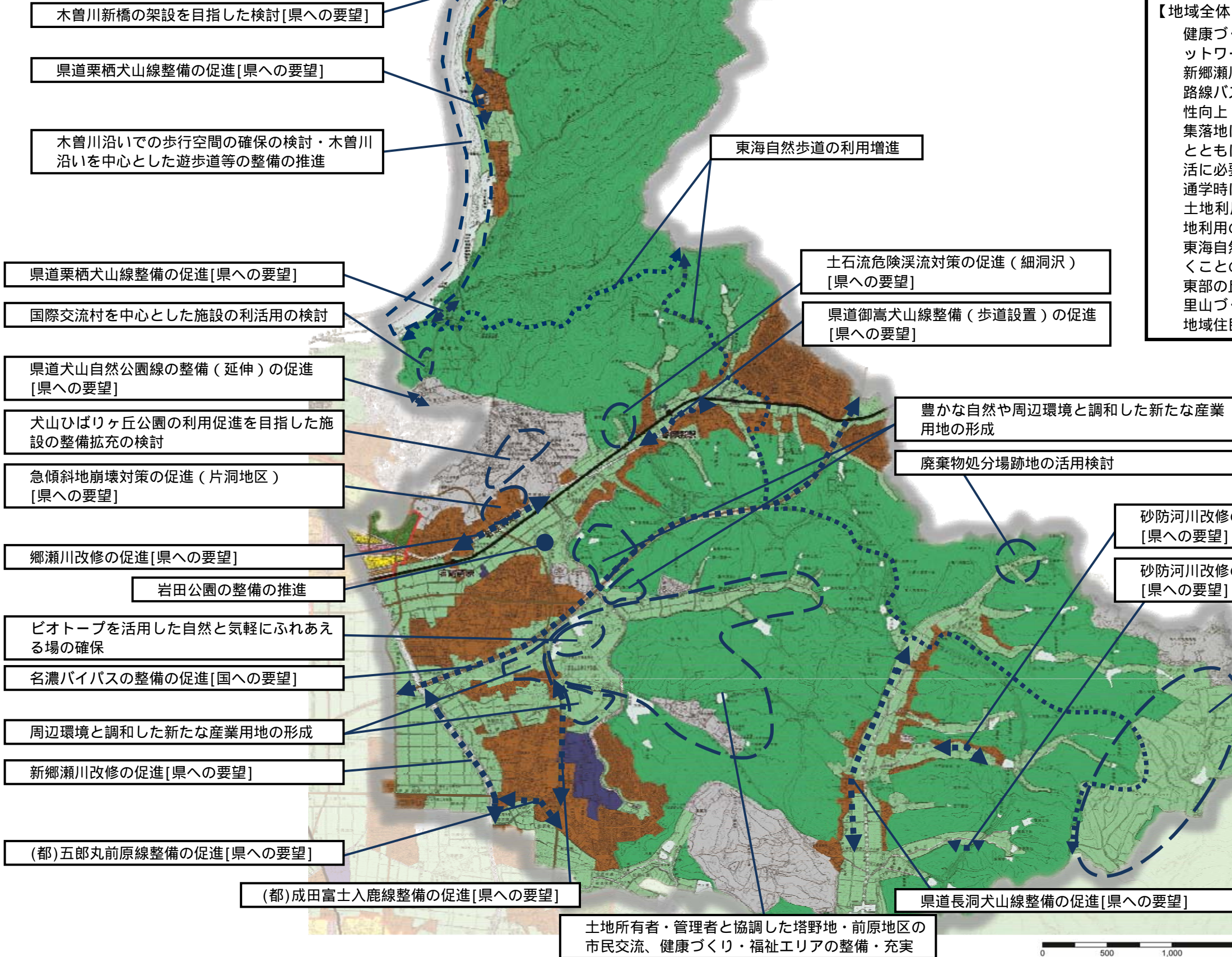


# 城東地域のまちづくり方針図



## 【地域全体】

健康づくり・福祉エリア、市民交流エリア間をつなぐ歩行者ネットワークの形成  
 新郷瀬川沿いの桜並木を活用した歩行者ネットワークの形成  
 路線バス・コミュニティバス路線網の強化・充実等による利便性向上  
 集落地における狭い道路等の生活道路の整備・改善を進めるとともに、生活道路の改善及び基盤施設の整備を通じた日常生活に必要な生活利便施設等の立地促進  
 通学時における安全性確保に向けた取組みの検討  
 土地利用規制が緩い地区等において地域の活性化のための土地利用の検討  
 東海自然歩道における案内標識、公衆便所等の施設や安全に歩くことのできる歩道の改修整備[県との連携]  
 東部の丘陵地に広がる森林やまとまりある優良な農地の保全  
 里山づくりや保全活動にも参加できるような機会の提供  
 地域住民との協働による今後の集落地のあり方の検討







### 3. 羽黒地域

#### (1) 地域の現況

##### 人口特性

本地域の平成22年現在の人口は、15,857人であり、本市の人口の20.9%を占めています。

人口密度は20.8人/haと市全体の10.1人/haの二倍以上となっています。

本地域の人口は平成19年以降減少していますが、世帯数は平成10年以降毎年増加しています。世帯人員は毎年減少しており、平成22年には、2.67人/世帯となっています。

本地域の平成22年の高齢化率は23.3%と市全体の22.6%より高くなっていますが、長者町団地では高齢化率が10-15%未満と低くなっています。また、平成10年には市内全地域で最も低かった高齢化率(11.6%)は、平成22年には市内全地域で2番目に高くなっており、高齢化の進展が顕著にみられます。

表 羽黒地域の基本的指標 (H22)

	H22年3月31日現在		
	羽黒地域	市全体	市全体に占める割合
面積 (ha)	763	7,497	10.2%
人口 (人)	15,857	75,820	20.9%
人口密度 (人/ha)	20.8	10.1	-
世帯数 (世帯)	5,799	27,880	20.8%
高齢者数 (人)	3,689	17,125	21.5%
高齢化率 (%)	23.3	22.6	-

注1)人口は町内会単位の集計結果 注2)世帯数に外国人世帯数は含まない  
(資料:住民基本台帳及び平成21年度犬山市の統計)

図 羽黒地域の人口・世帯数の推移

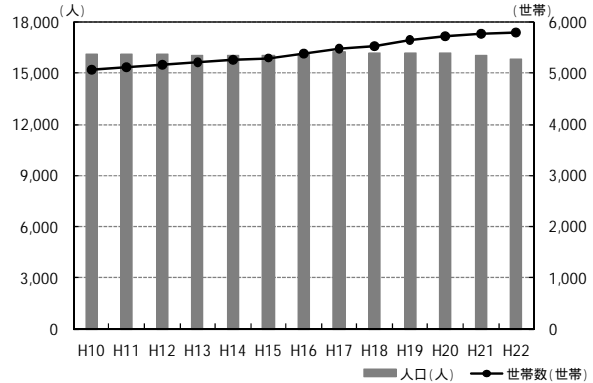


表 羽黒地域の人口・世帯数・高齢者の推移

	H22年3月31日現在												
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
人口 (人)	16,148	16,122	16,106	16,079	16,062	16,044	16,151	16,232	16,175	16,222	16,192	16,029	15,857
世帯数 (世帯)	5,063	5,120	5,164	5,217	5,257	5,298	5,380	5,480	5,530	5,648	5,718	5,775	5,799
高齢者数 (人)	1,867	1,981	2,105	2,240	2,384	2,521	2,700	2,858	3,057	3,260	3,405	3,580	3,689
世帯人員 (人/世帯)	3.15	3.11	3.08	3.04	3.01	2.98	2.95	2.90	2.85	2.79	2.74	2.70	2.67
人口増加率 (%)	-	-0.2	-0.3	-0.4	-0.5	-0.6	0.0	0.5	0.2	0.5	0.3	-0.7	-1.8
世帯増加率 (%)	-	1.1	2.0	3.0	3.8	4.6	6.3	8.2	9.2	11.6	12.9	14.1	14.5
高齢化率 (%)	11.6	12.3	13.1	13.9	14.8	15.7	16.7	17.6	18.9	20.1	21.0	22.3	23.3

注1)人口は町内会単位の集計結果 注2)世帯数に外国人世帯数は含まない 注3)世帯人員 = 世帯数 / 人口 (外国人含まない)  
注4)人口増加率、世帯増加率ともに平成10年度比 注5)高齢化率 = 高齢者数 / 人口 (資料:住民基本台帳及び外国人登録)

図 羽黒地域の高齢者割合の推移

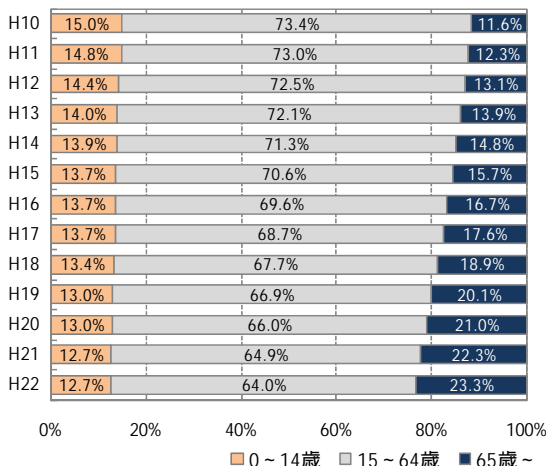
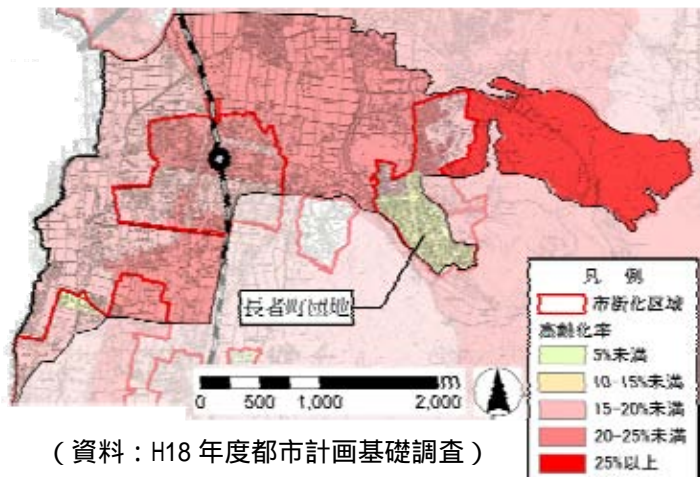


図 羽黒地域の人口高齢化率の状況図 (H18)



(資料: H18年度都市計画基礎調査)

\* 小数点第二位で四捨五入しているため、構成比の合計は100%とならない。

土地利用特性

羽黒駅周辺では、第1種住居地域や第1種中高層住居専用地域が定められています。主要地方道春日井各務原線沿道等では、近隣商業地域が定められています。また、地域東側の市街化区域では、主に第1種低層住居専用地域が、地域南側の羽黒新田地区では、主に工業専用地域が定められています。

市街化区域においては、羽黒地区は住宅用地としての土地利用が主体となっていますが、羽黒新田地区には大規模工場が立地しています。羽黒地区東側の市街化区域や羽黒新田地区に、都市的低・未利用地がみられます。また、商業施設は、主要地方道春日井各務原線沿道に立地しています。

市街化調整区域においては、地域北側に優良農地が広がっていますが、日の出団地や大規模工場が立地しています。地域全域に、集落地が形成されており、地域東側は森林となっています。

図 都市計画図

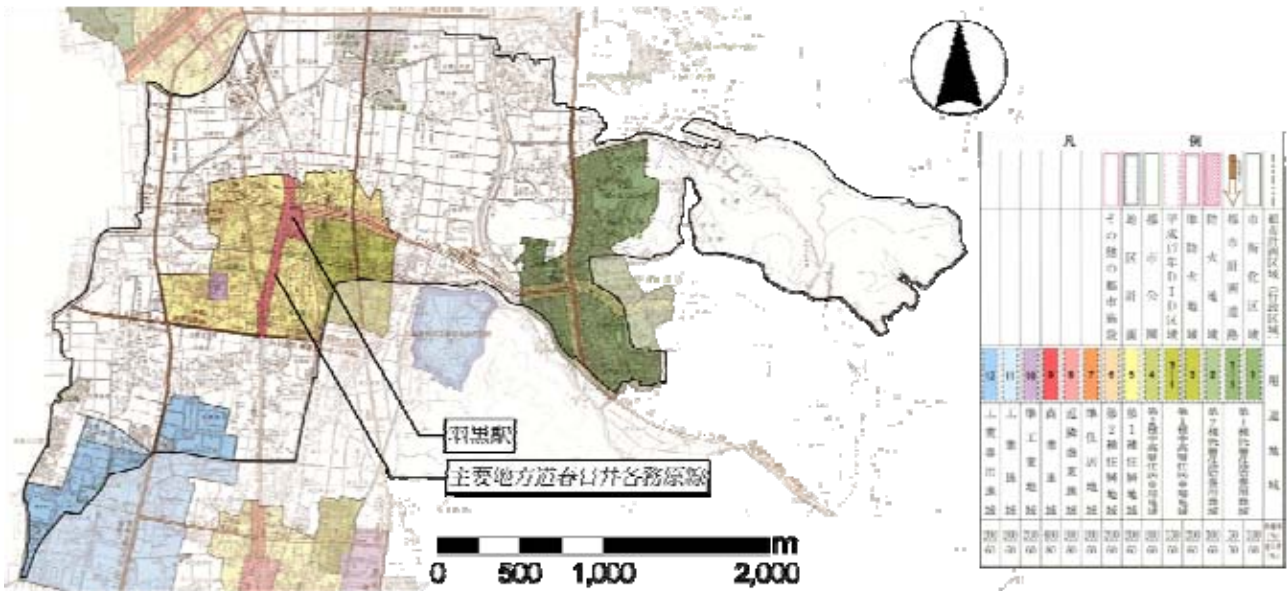
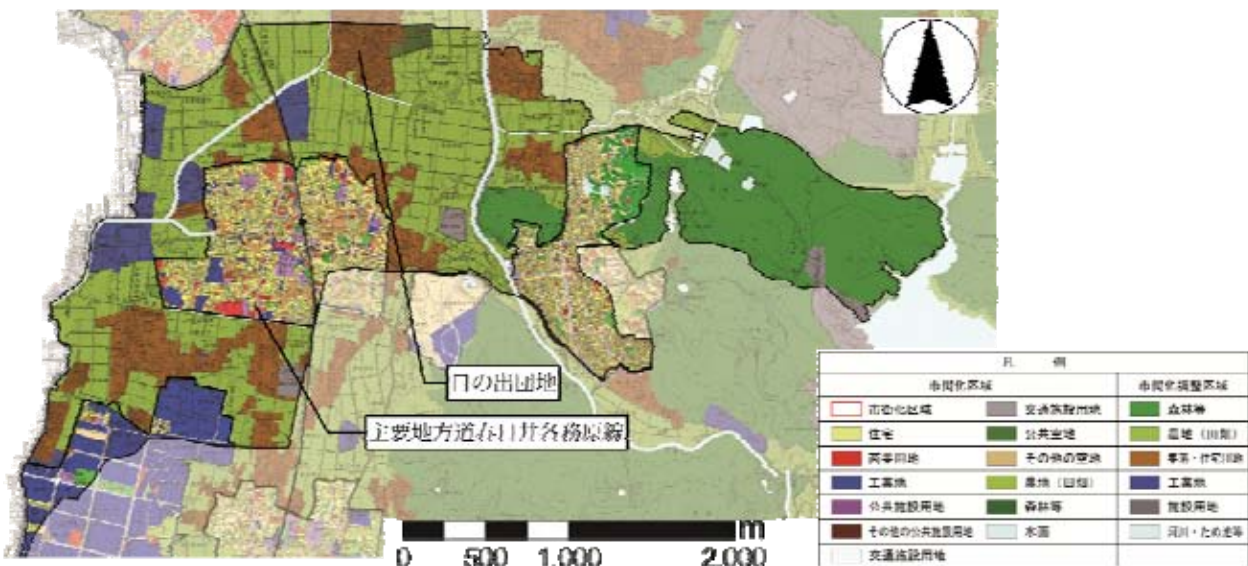


図 土地利用現況図



(資料：市街化区域は H19 年度都市計画基礎調査、市街化調整区域は白図により作成)

都市基盤整備の状況

都市計画道路としては、(都)名古屋犬山線、(都)犬山大橋線、(都)蝉屋長塚線の全線と、(都)犬山富士線の一部が未整備となっています。

地域東側の長者町団地のみが土地区画整理事業により、面的整備が完了していますが、羽黒駅周辺などのその他の地区では面的整備が行われていません。

地域北側の日の出団地や、面的整備が完了した長者町団地を含む地域東側の市街化区域は、概ね公園誘致圏に含まれています。羽黒駅周辺等その他の市街地及び市街化調整区域では、都市公園（街区公園、近隣公園、地区公園）が不足しています。

図 都市計画道路の整備状況図

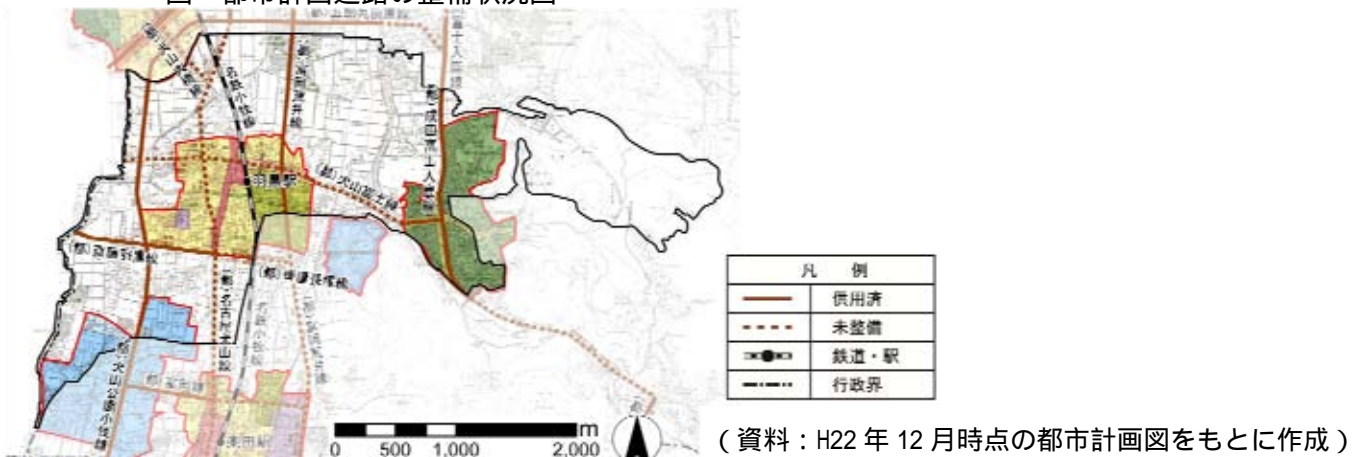


図 土地区画整理事業の整備状況図

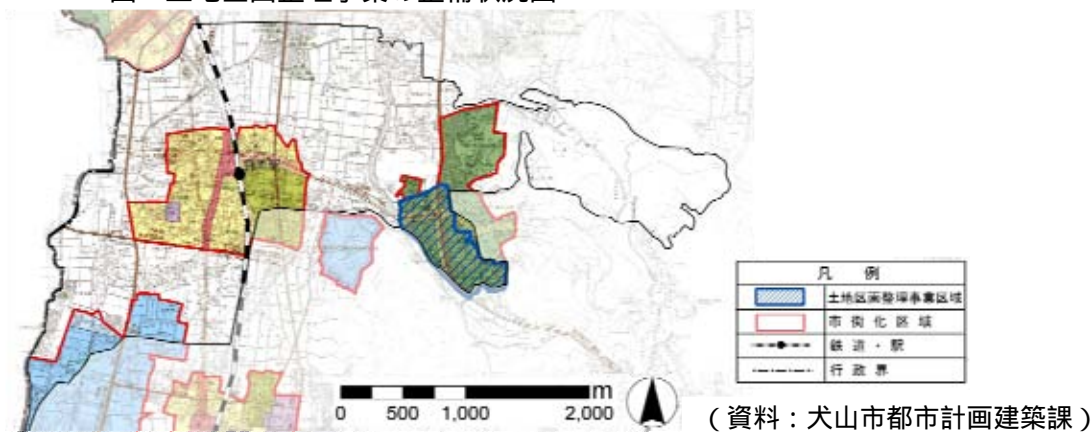
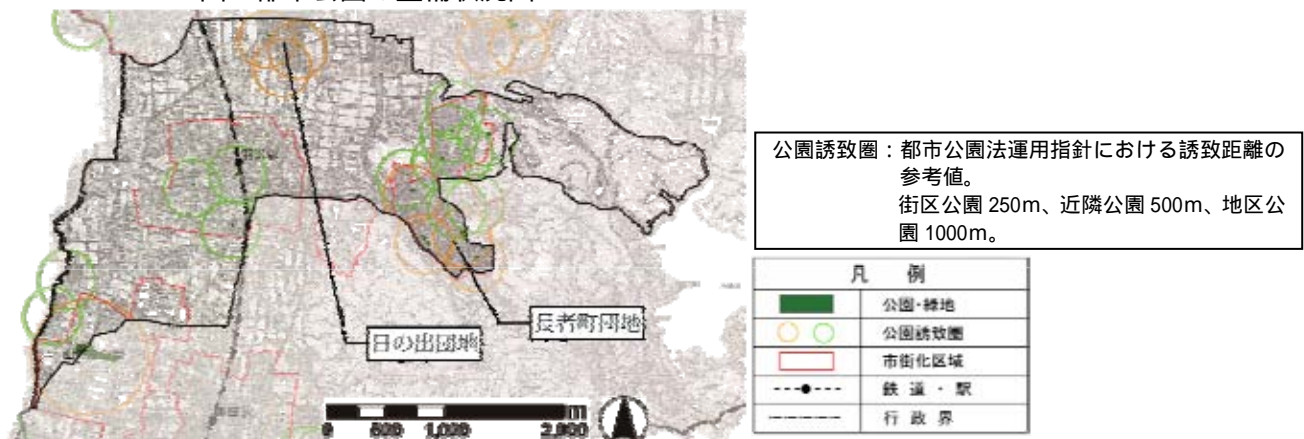


図 都市公園の整備状況図



(2) 全体構想における当該地域の位置づけ

『いつまでも暮らし続けたい都市』を目指して、

- ・羽黒駅周辺を地区拠点に位置づけています。
- ・市民文化会館、竹ノ腰地区周辺を健康づくり・福祉エリアに位置づけています。
- ・半ノ木川、新郷瀬川及び五条川沿いを歩行者・自転車ネットワークに位置づけています。
- ・公共交通による拠点間等のネットワーク化により、誰もが快適に移動できる交通環境の確保を図ることとしています。

『基盤が整い、活力を創出する都市を目指』して、

- ・(都)斎藤羽黒線、(都)犬山公園小牧線、(都)名古屋犬山線、(都)犬山富士線、(都)犬山大橋線、(都)成田富士入鹿線、(都)富岡荒井線、(都)蝉屋長塚線を拠点間等を結び円滑な都市活動を支える幹線道路に位置づけています。

『交流を生み、にぎわいがあふれる都市』を目指して、

- ・市民文化会館、竹ノ腰地区周辺を市民交流エリアに位置づけています。
- ・半ノ木川、新郷瀬川及び五条川沿いを、「さくらねっと・うおーく」に代表される歩行者・自転車ネットワークに位置づけています。

『自然や環境と調和する都市』を目指して、

- ・半ノ木川、新郷瀬川及び五条川沿いについては、歩行者・自転車ネットワークを利用した水と緑のネットワークに位置づけています。
- ・地域東部を農地ゾーンに位置づけています。

### (3) 地域のまちづくり課題

地域住民意向や地域の現況、全体構想における当該地域の位置づけ等を踏まえ、本地域におけるまちづくり上の主要課題を、全体構想における「都市づくりの目標」の視点ごとに整理します。

#### 「暮らし」の視点

---

- ・地区拠点として位置づけた羽黒駅周辺においては、居住機能や日常的な生活利便機能の充実を図ることが必要です。また、過度に自動車交通に頼らなくても暮らし続けることができるよう、当該駅周辺での交通結節機能の強化を図りつつ、公共交通や徒歩などでの快適な移動環境を確保していくことが必要です。
- ・健康づくり・福祉エリアに位置づけた市民文化会館、竹ノ腰地区周辺を中心に、歩行者ネットワークの形成など、市民の健康な暮らしを支える生活環境の形成を図るとともに、市民の健康づくりに寄与するよう、さらなる機能の充実を図ることが必要です。
- ・都市基盤施設が未整備な市街地内には多くの都市的低・未利用地が残ることから、これら都市的低・未利用地の宅地化の促進や緑地・広場等としての有効活用を図ることが必要です。
- ・都市基盤施設が未整備な市街地内を通過する自動車交通を円滑に処理し、安全で安心な歩行環境を創出するため、東西方向を中心とした幹線道路網の再構築を検討することが必要です。

#### 「活力」「交流・にぎわい」の視点

---

- ・地域西側の既存の工業用地及びその周辺においては、本地域のみならず市全体の活力向上につながるよう、産業機能の維持・強化を図ることが必要です。
- ・地区拠点や産業用地、地域内に点在する資源等を結び、円滑な都市活動を支えるために必要な東西方向を中心とした道路網の充実を図ることが必要です。
- ・市民交流エリアでもある市民文化会館、竹ノ腰地区周辺においては、交流機能の維持・強化を図り、既存の施設を活用しながら、これまで以上に多様な交流を創出していくことが必要です。また、既存の道路網や地域内を流れる河川等を活用しながら、地域に点在する歴史・文化資源等のネットワークを強化することが必要です。

#### 「自然・環境」の視点

---

- ・地域東部の丘陵地に広がる緑地や一団のまとまりある農地については、その保全を図ることが必要です。
- ・地域東部の緑地の保全に向けては、緑を守り、育むような市民の気運を高める取組みを進めることが必要です。
- ・地域内を流れる河川等を活用しながら、身近に自然に親しめる場や機会の形成が必要です。

(4) 地域のまちづくり目標と方針

当該地域におけるまちづくり上の主要課題を踏まえ、当該地域が目指すまちづくり目標を以下のように定めるとともに、その実現に向けたまちづくりの方針を示します。

<まちづくり目標>

**みんなが健康で元気に暮らせるまち**

本地域では、地区拠点である羽黒駅周辺を中心に、暮らしに必要な魅力ある機能が集積し、子どもからお年寄りまでが健康で元気に暮らすことのできるまちを目指します。



<目標実現に向けたまちづくりの方針>

羽黒駅周辺及び駅につながる幹線道路の沿道では、駅前広場等の都市基盤施設の整備・改善や歩道設置等を通じ、日常生活に必要な生活利便施設や徒歩・自転車でも利用しやすい商業施設等の立地を促進します。

羽黒駅へのアクセス利便性を高めるような道路整備（歩行環境の改善等）及び駅前広場の整備・改善を図ります。

竹ノ腰地区（健康づくり・福祉エリア、市民交流エリア）においては、既存施設と連携したスポーツ・レクリエーション活動の場となる新たな公園（体育館や交流スペース等）の設置について、防災機能の強化とあわせて検討を進めます。

各拠点・鉄道駅等へのアクセス利便性の向上や高齢者の買い物支援等に向け、路線バス・コミュニティバス路線網の強化・充実等により、利便性の向上を図ります。

羽黒稲葉西地区等既存の産業用地に隣接した地域において、新たな産業用地の形成を図ります。

当該地域に隣接する工業団地等で発生・集中する大型車をはじめとする自動車交通を円滑に処理するとともに、安全で安心して歩ける歩行環境の創出や生活利便性の向上に向けたまちづくりの視点から、（都）犬山富士線の計画変更（見直し）・整備を検討します。

基盤未整備市街地での都市的低・未利用地の宅地化を促進するとともに、自動車の速度抑制や地区内への過度な進入の抑制に配慮しながら、地権者等の関係者の協力を得て、狭あい道路等の生活道路の整備・改善を進めます。

生活道路の改善及び基盤施設の整備を通じて、日常生活に必要な生活利便施設等の立地を促進します。

羽黒小学校の改築・機能充実を図ります。

地域コミュニティを維持し、育むため、身近なまちづくり・計画づくりへの住民参加や住民参加による公園等の維持管理、祭りの活性化やNPO団体の支援などの取組みを進めます。

防災性の向上に向け、県への要望を通じ、新郷瀬川の改修を促進するとともに、集中豪雨等の緊急時における入鹿池を含めた五条川の河川管理体制の強化を図ります。

## &lt;まちづくり目標&gt;

**水や地域の歴史・文化に親しみ 歩いてめぐれるまち**

本地域では、地域内を流れる河川等を活用し、点在する歴史・文化資源等に親しみ・ふれあいながら、これらを歩いてめぐること、住民同士の交流・ふれあいを創出するとともに、本地域固有の自然・歴史・文化を身近に感じることができるまちを目指します。



## &lt;目標実現に向けたまちづくりの方針&gt;

健康づくり・福祉エリアの整備・充実を図りつつ、公共交通や徒歩等でのアクセス利便性の向上及び当該エリアを含めた各エリア間をつなぐ歩行者ネットワークの形成を図ります。

新郷瀬川沿いをはじめとした桜並木を活用して、歩行者ネットワークの形成を図るとともに、歩行者が安心して快適に歩くことができるようなサイン等の設置を検討します。

半ノ木川、五条川において、ウォーキング・トレイル事業等により、堤防を利用した遊歩道の整備を推進します。

磨墨塚史跡公園・羽黒城址の整備を進めます。

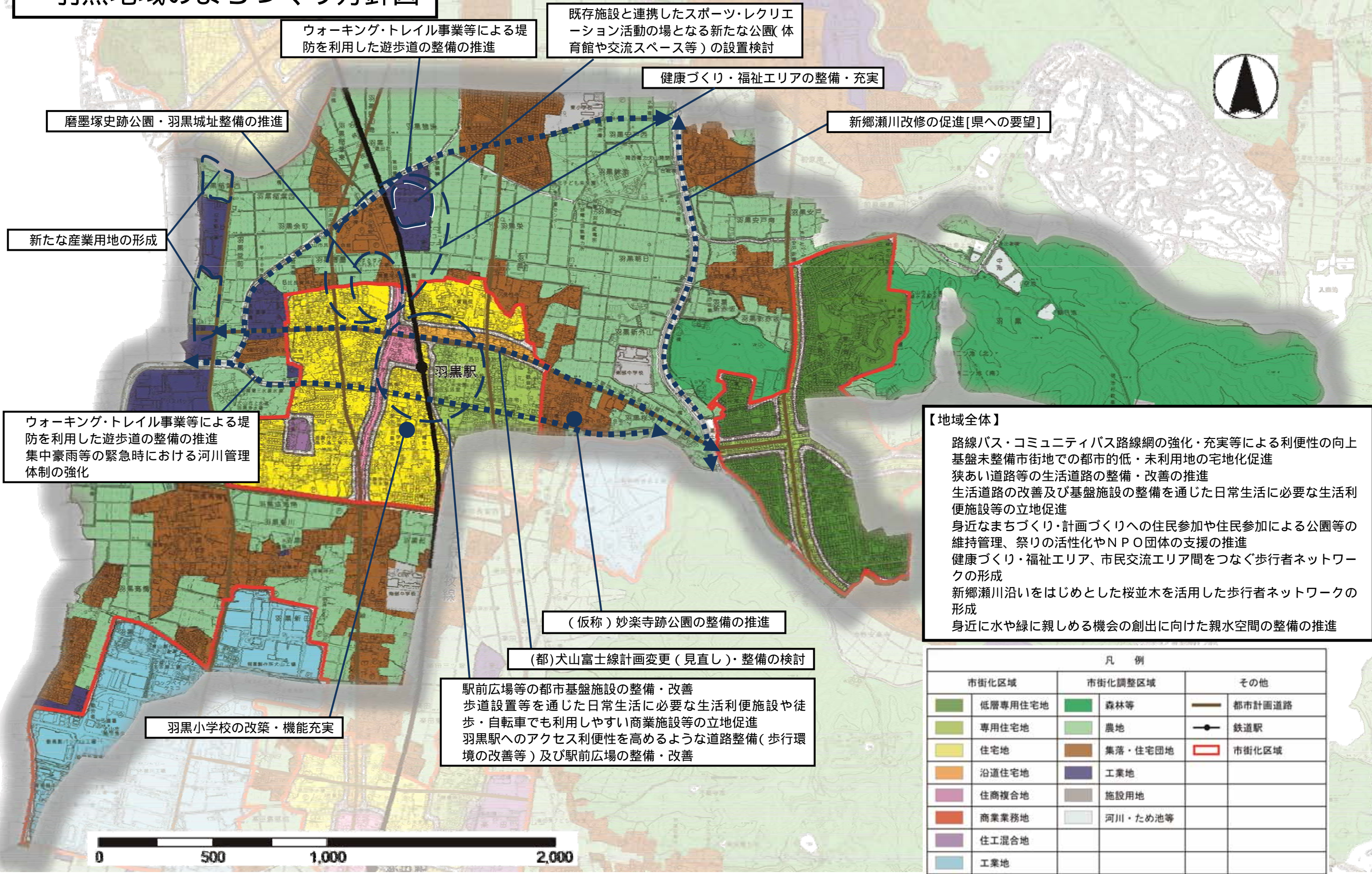
(仮称)妙楽寺跡公園の整備を進めます。

地域住民が身近に水や自然に親しめる機会の創出に向け、五条川と半ノ木川の合流点等において、親水空間の整備を進めます。





# 羽黒地域のまちづくり方針図



ウォーキング・トレイル事業等による堤防を利用した遊歩道の整備の推進

既存施設と連携したスポーツ・レクリエーション活動の場となる新たな公園(体育館や交流スペース等)の設置検討

健康づくり・福祉エリアの整備・充実

新郷瀬川改修の促進[県への要望]

磨墨塚史跡公園・羽黒城址整備の推進

新たな産業用地の形成

ウォーキング・トレイル事業等による堤防を利用した遊歩道の整備の推進  
集中豪雨等の緊急時における河川管理体制の強化

(仮称)妙楽寺跡公園の整備の推進

(都)犬山富士線計画変更(見直し)・整備の検討

駅前広場等の都市基盤施設の整備・改善  
歩道設置等を通じた日常生活に必要な生活利便施設や徒歩・自転車でも利用しやすい商業施設等の立地促進  
羽黒駅へのアクセス利便性を高めるような道路整備(歩行環境の改善等)及び駅前広場の整備・改善

羽黒小学校の改築・機能充実

**【地域全体】**  
 路線バス・コミュニティバス路線網の強化・充実等による利便性の向上  
 基盤未整備市街地での都市的・未利用地の宅地化促進  
 狭い道路等の生活道路の整備・改善の推進  
 生活道路の改善及び基盤施設の整備を通じた日常生活に必要な生活利便施設等の立地促進  
 身近なまちづくり・計画づくりへの住民参加や住民参加による公園等の維持管理、祭りの活性化やNPO団体の支援の推進  
 健康づくり・福祉エリア、市民交流エリア間をつなぐ歩行者ネットワークの形成  
 新郷瀬川沿いをはじめとした桜並木を活用した歩行者ネットワークの形成  
 身近に水や緑に親しめる機会の創出に向けた親水空間の整備の推進

凡例		
市街化区域	市街化調整区域	その他
低層専用住宅地	森林等	都市計画道路
専用住宅地	農地	鉄道駅
住宅地	集落・住宅団地	市街化区域
沿道住宅地	工業地	
住商複合地	施設用地	
商業業務地	河川・ため池等	
住工混合地		
工業地		



## 4. 楽田地域

### (1) 地域の現況

#### 人口特性

本地域の平成22年現在の人口は、13,469人であり、本市の人口の17.8%を占めています。

また、人口密度は12.4人/haと市全体の10.1人/haを上回っています。

本地域の人口及び世帯数は毎年増加しています。人口増加率よりも世帯増加率が高くなっており、世帯人員は毎年減少し、平成22年には、2.73人/世帯となっています。

本地域の平成22年の高齢化率は22.2%と市全体の22.6%より低なっています。特に平成18年においては、県営楽田住宅周辺が高齢化率10-15%と低くなっていますが、犬山市工業団地周辺の高齢化率が20-25%と高くなっています。また、年少人口割合は平成19年までは増加していますが、その後若干減少しています。

表 楽田地域の基本的指標 (H22)

	H22年3月31日現在		
	楽田地域	市全体	市全体に占める割合
面積 (ha)	1,085	7,497	14.5%
人口 (人)	13,469	75,820	17.8%
人口密度 (人/ha)	12.4	10.1	-
世帯数 (世帯)	4,623	27,880	16.6%
高齢者数 (人)	2,990	17,125	17.5%
高齢化率 (%)	22.2	22.6	-

注1)人口は町内会単位の集計結果 注2)世帯数に外国人世帯数は含まない  
(資料:住民基本台帳及び平成21年度犬山市の統計)

図 楽田地域の人口・世帯数の推移

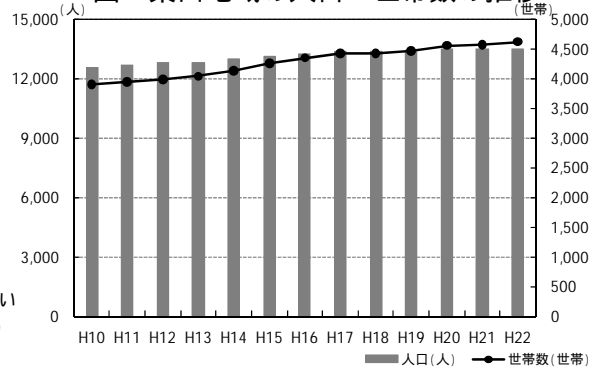
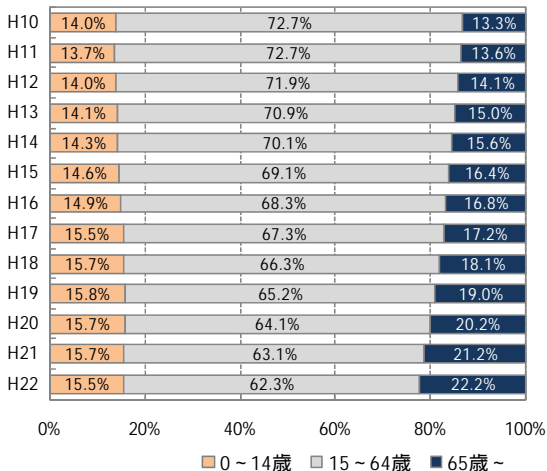


表 楽田地域の人口・世帯数・高齢者の推移

	H22年3月31日現在												
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
人口 (人)	12,566	12,708	12,835	12,791	12,971	13,135	13,267	13,401	13,374	13,449	13,516	13,477	13,469
世帯数 (世帯)	3,901	3,939	3,994	4,042	4,130	4,253	4,352	4,420	4,426	4,468	4,560	4,573	4,623
高齢者数 (人)	1,677	1,729	1,812	1,921	2,024	2,148	2,223	2,301	2,418	2,554	2,729	2,862	2,990
世帯人員 (人/世帯)	3.13	3.10	3.07	3.03	3.00	2.95	2.91	2.89	2.86	2.83	2.77	2.76	2.73
人口増加率 (%)	-	1.1	2.1	1.8	3.2	4.5	5.6	6.6	6.4	7.0	7.6	7.2	7.2
世帯増加率 (%)	-	1.0	2.4	3.6	5.9	9.0	11.6	13.3	13.5	14.5	16.9	17.2	18.5
高齢化率 (%)	13.3	13.6	14.1	15.0	15.6	16.4	16.8	17.2	18.1	19.0	20.2	21.2	22.2

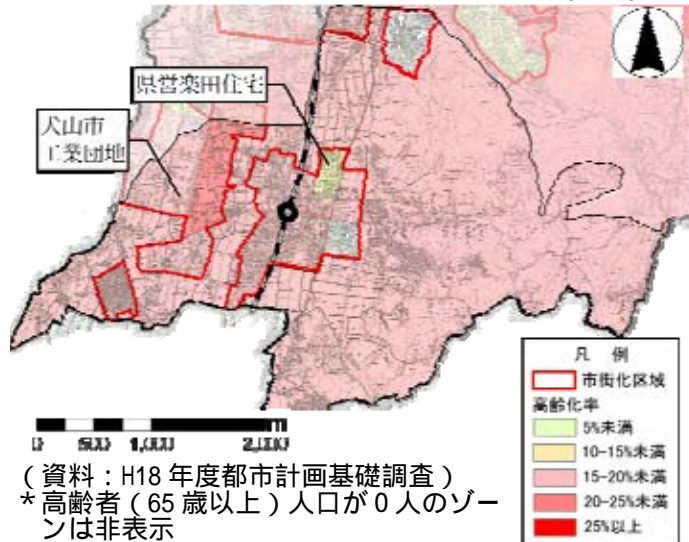
注1)人口は町内会単位の集計結果 注2)世帯数に外国人世帯数は含まない 注3)世帯人員 = 世帯数 / 人口 (外国人含まない)  
注4)人口増加率、世帯増加率ともに平成10年度比 注5)高齢化率 = 高齢者数 / 人口 (資料:住民基本台帳及び外国人登録)

図 楽田地域の高齢者割合の推移



\* 小数点第二位で四捨五入しているため、構成比の合計は100%とならない。

図 楽田地域の人口高齢化率の状況図 (H18)



土地利用特性

楽田駅周辺では、近隣商業地域が定められています。(都)名古屋犬山線沿いでは、準住居地域が、(都)富岡荒井線西側は準工業地域が定められています。また、地域北側や西側は工業地域や工業専用地域が、西楽田団地は低層住居専用地域が定められています。

市街化区域においては、楽田駅周辺は住宅用地としての土地利用が主体となっており、駅東側には公共施設用地(楽田小学校、楽田子ども未来園等)がみられます。大規模工業用地については、地域西側(犬山市工業団地)及び地域北側(犬山高根洞工業団地)に形成されています。楽田駅周辺の市街化区域内において都市的低・未利用地がみられます。また、商業施設は、(都)名古屋犬山線沿道に立地しています。

市街化調整区域においては、地域西側に優良農地、地域東側は丘陵地が広がり、丘陵地沿い等に集落地が形成されています。また、住宅団地(つつじヶ丘団地、桃山台等)や大規模工場が点在しています。

図 都市計画図

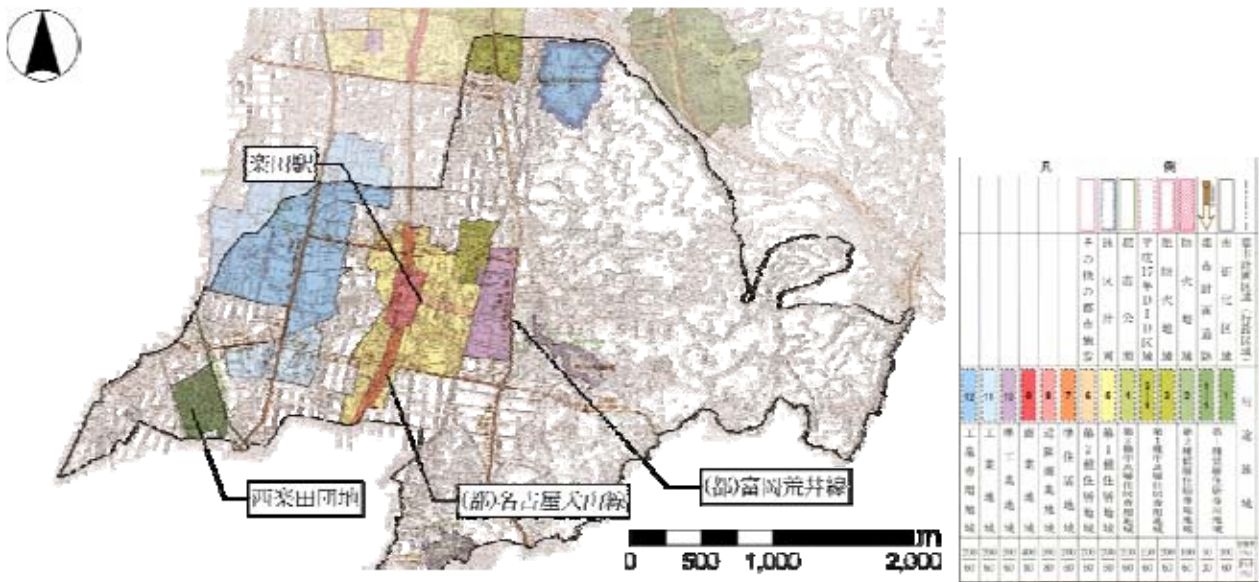
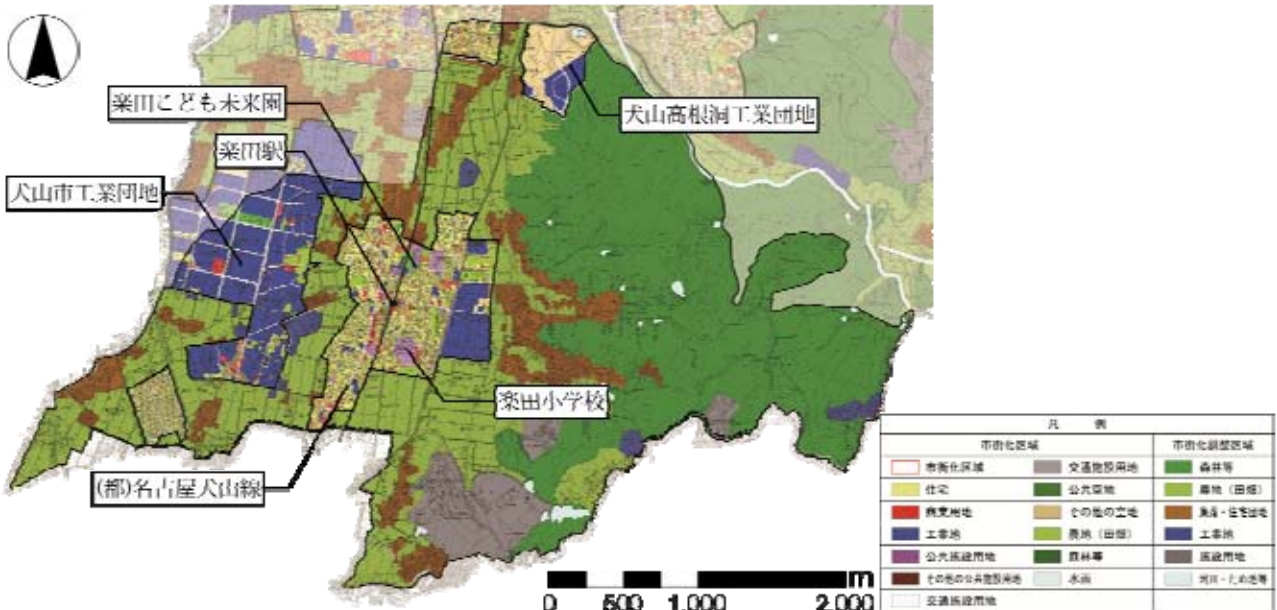


図 土地利用現況図



(資料：市街化区域は H19 年度都市計画基礎調査、市街化調整区域は白図により作成)

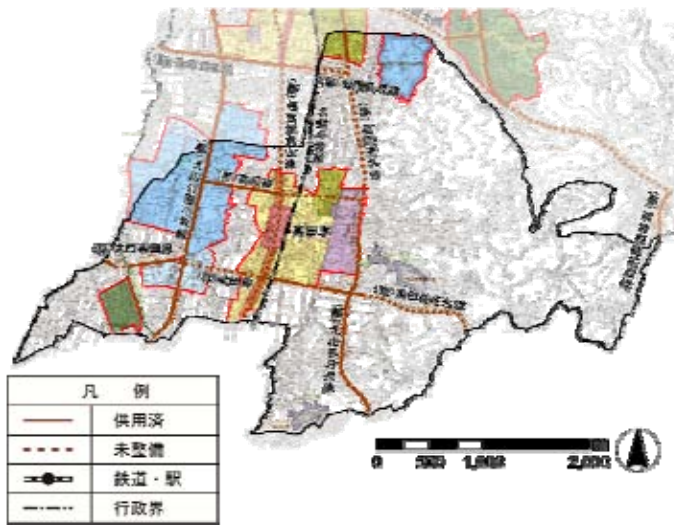
都市基盤整備の状況

都市計画道路としては、(都)名古屋犬山線、(都)蝉屋長塚線の全線と、(都)大口楽田線、(都)楽田桃花台線、(都)楽田線、(都)高岡線、(都)富岡荒井線の一部が未整備となっています。

地域全域において、土地区画整理事業は行われていません。

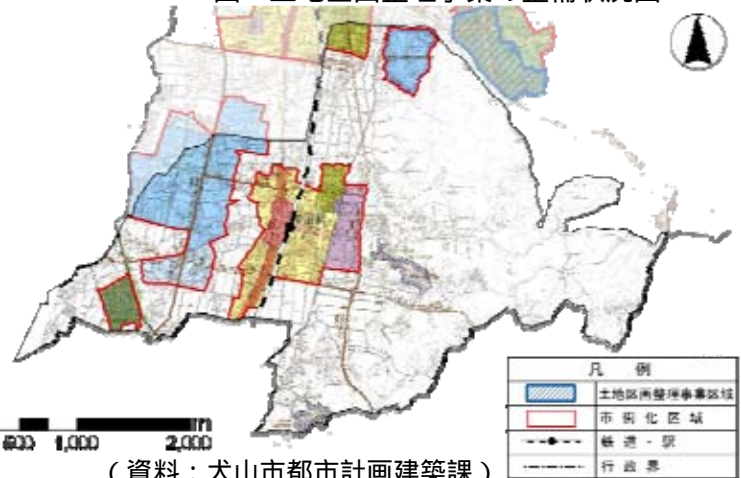
市街化区域においては、地域西部の犬山市工業団地及び西楽田団地の一部が、市街化調整区域においては、地域南部のつつじヶ丘団地周辺が公園誘致圏に含まれています。その他の地域では、都市公園（街区公園、近隣公園、地区公園）が不足しています。

図 都市計画道路の整備状況図



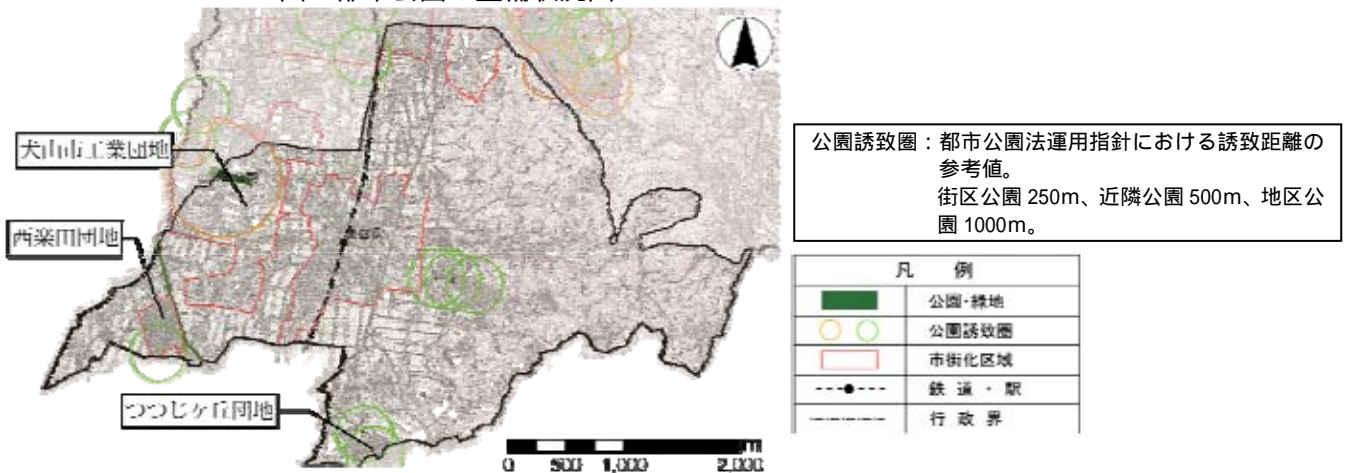
(資料：H22年12月時点の都市計画図をもとに作成)

図 土地区画整理事業の整備状況図



(資料：犬山市都市計画建築課)

図 都市公園の整備状況図



(2) 全体構想における当該地域の位置づけ

『いつまでも暮らし続けたい都市』を目指して、

- ・大縣神社周辺においては、地域固有の祭りや伝統芸能を通じた地域コミュニティの維持向上を図ることとしています。
- ・楽田駅周辺を地区拠点に位置づけています。
- ・山の田公園周辺を健康づくり・福祉エリアに位置づけています。
- ・薬師川、木津用水沿い及び県道若宮江南線、県道大県神社線等を歩行者・自転車ネットワークに位置づけています。
- ・公共交通による拠点間等のネットワーク化により、誰もが快適に移動できる交通環境の確保を図ることとしています。

『基盤が整い、活力を創出する都市』を目指して、

- ・既存工業地の犬山市工業団地周辺を新たな産業拠点を位置づけています。
- ・(都)楽田線、(都)犬山公園小牧線、(都)名古屋犬山線を拠点間等を結び円滑な都市活動を支える幹線道路に位置づけています。

『交流を生み、にぎわいがあふれる都市』を目指して、

- ・山の田公園周辺を市民交流エリアに位置づけています。
- ・薬師川、木津用水沿い及び県道若宮江南線、県道大県神社線等を歩行者・自転車ネットワークに位置づけています。

自然や環境と調和する都市を目指して、

- ・東部の丘陵地における里山景観の保全と形成を図ることとしています。
- ・薬師川、木津用水沿い及び県道若宮江南線、県道大県神社線等については、歩行者・自転車ネットワークを利用した水と緑のネットワークに位置づけています。
- ・地域東側の丘陵地を森林・里山ゾーンに、地域南側や地域北側を農地ゾーンに位置づけています。

### (3) 地域のまちづくり課題

地域住民意向や地域の現況、全体構想における当該地域の位置づけ等を踏まえ、本地域におけるまちづくり上の主要課題を、全体構想における「都市づくりの目標」の視点ごとに整理します。

#### 「暮らし」の視点

---

- ・地区拠点として位置づけた楽田駅周辺においては、居住機能や日常的な生活利便機能の充実を図ることが必要です。また、過度に自動車交通に頼らなくても暮らし続けることができるよう、当該駅周辺での交通結節機能の強化を図りつつ、公共交通や徒歩などでの快適な移動環境を確保していくことが必要です。
- ・健康づくり・福祉エリアに位置づけた山の田公園周辺を中心に、歩行者ネットワークの形成など、市民の健康な暮らしを支える生活環境の形成を図ることが必要です。
- ・地域の東部の丘陵地等を中心に、土砂災害が懸念される箇所がみられることから、これら防災対策を進め、都市防災性の向上を図ることが必要です。
- ・都市基盤施設が未整備な市街地内には多くの都市的・未利用地が残ることから、これら都市的・未利用地の宅地化の促進や緑地・広場等としての有効活用を図ることが必要です。

#### 「活力」「交流・にぎわい」の視点

---

- ・犬山高根洞工業団地をはじめ、既存の工業用地の維持を図るとともにその周辺においては、本地域のみならず市全体の活力向上につながるような新たな産業機能の導入を促進することが必要です。なお、既存の工業用地が集積した区域の一部では、住宅地等が介在する地区もみられることから、これら区域では、既存の産業機能と居住機能をとともに維持し、工場等と住宅が共存する土地利用を継続できるような対策を検討することが必要です。
- ・地区拠点や産業用地、地域内に点在する資源等を結び、円滑な都市活動を支えるために必要な東西、南北方向の道路網の充実を図ることが必要です。
- ・既存の道路網や地域内を流れる河川等を活用しながら、地域に点在する歴史・文化資源や東部の自然資源等のネットワークを強化することが必要です。

#### 「自然・環境」の視点

---

- ・地域東部の丘陵地に広がる緑地や一団のまとまりある農地については、その保全を図ることが必要です。
- ・地域東部の緑地の保全に向けては、緑を守り、育むような市民の気運を高める取組みを進めることが必要です。

(4) 地域のまちづくり目標と方針

当該地域におけるまちづくり上の主要課題を踏まえ、当該地域が目指すまちづくり目標を以下のように定めるとともに、その実現に向けたまちづくりの方針を示します。

<まちづくり目標>

**集積する産業と共生しながら  
便利で快適な生活環境が整ったまち**

本地域では、地区拠点である楽田駅周辺を中心に、暮らしに必要な魅力ある機能やそれを支える都市基盤施設等が整うとともに、本地域に集積する産業機能と共生しながら、便利で快適な生活環境が整い、高齢者をはじめ誰もが暮らし続けたいまちを目指します。



<目標実現に向けたまちづくりの方針>

楽田駅周辺及び駅につながる幹線道路の沿道では、駅前広場等の都市基盤施設の整備・改善や歩道設置等を通じ、日常生活に必要な生活利便施設や徒歩・自転車でも利用しやすい商業施設等の立地を促進します。

楽田駅へのアクセス利便性を高めるような道路整備（歩行環境の改善等）及び駅前広場の整備・改善を図ります。

楽田駅周辺では、自転車駐車場の充実を図ります。

基盤未整備市街地での都市的・未利用地の宅地化を促進するとともに、自動車の速度抑制や地区内への過度な進入の抑制に配慮しながら、地権者等の関係者の協力を得て、狭あい道路等の生活道路の整備・改善を進めます。

生活道路の改善及び基盤施設の整備を通じて、日常生活に必要な生活利便施設等の立地を促進します。

山の田公園の利用促進を目指し、施設の整備拡充を検討します。

各拠点・鉄道駅等へのアクセス利便性の向上や高齢者の買い物支援等に向け、路線バス・コミュニティバス路線網の強化・充実等により、利便性の向上を図ります。

楽田児童センターの整備を進めます。

県への要望を通じ、土石流危険渓流対策（洞田沢）及び急傾斜崩壊対策（向山地区）を進めます。

楽田巾地区、楽田今村地区及び楽田小針地区等既存の産業用地の周辺において、新たな産業用地の形成を図ります。

地域内での自動車交通を円滑に処理するため、以下の都市計画道路等幹線道路の整備等を進めます。（【 】内は本市以外の事業主体）

- ・(都)大口楽田線の整備 【県】
- ・(都)楽田桃花台線の整備 【一部、県】
- ・(都)富岡荒井線の整備
- ・県道大県神社線の整備 【県】

防災性の向上に向け、県への要望を通じ、合瀬川の改修を進めます。



地域コミュニティを維持し、育むため、身近なまちづくり・計画づくりへの住民参加や住民参加による公園等の維持管理、祭りの活性化やNPO団体の支援などの取組みを進めます。安全で安心して歩ける歩行環境の創出や生活利便性の向上に向けたまちづくりの視点から、(都)楽田線の計画変更(見直し)・整備を検討します。

#### <まちづくり目標>

### 地域の豊かな歴史・自然にふれあえる歩いて楽しいまち

本地域では、地域内に点在する数多くの歴史・文化資源や自然資源等を歩いてめぐりながら、住民同士の交流・ふれあいを創出するとともに、日常生活の中で気軽に本地域固有の自然・歴史・文化を感じ、楽しむことができるまちを目指します。



#### <目標実現に向けたまちづくりの方針>

山の田公園周辺(健康づくり・福祉エリア、市民交流エリア)の整備・充実を図りつつ、公共交通や徒歩等でのアクセス利便性の向上及び当該エリアを含めた各エリア間をつなぐ歩行者ネットワークの形成を図ります。

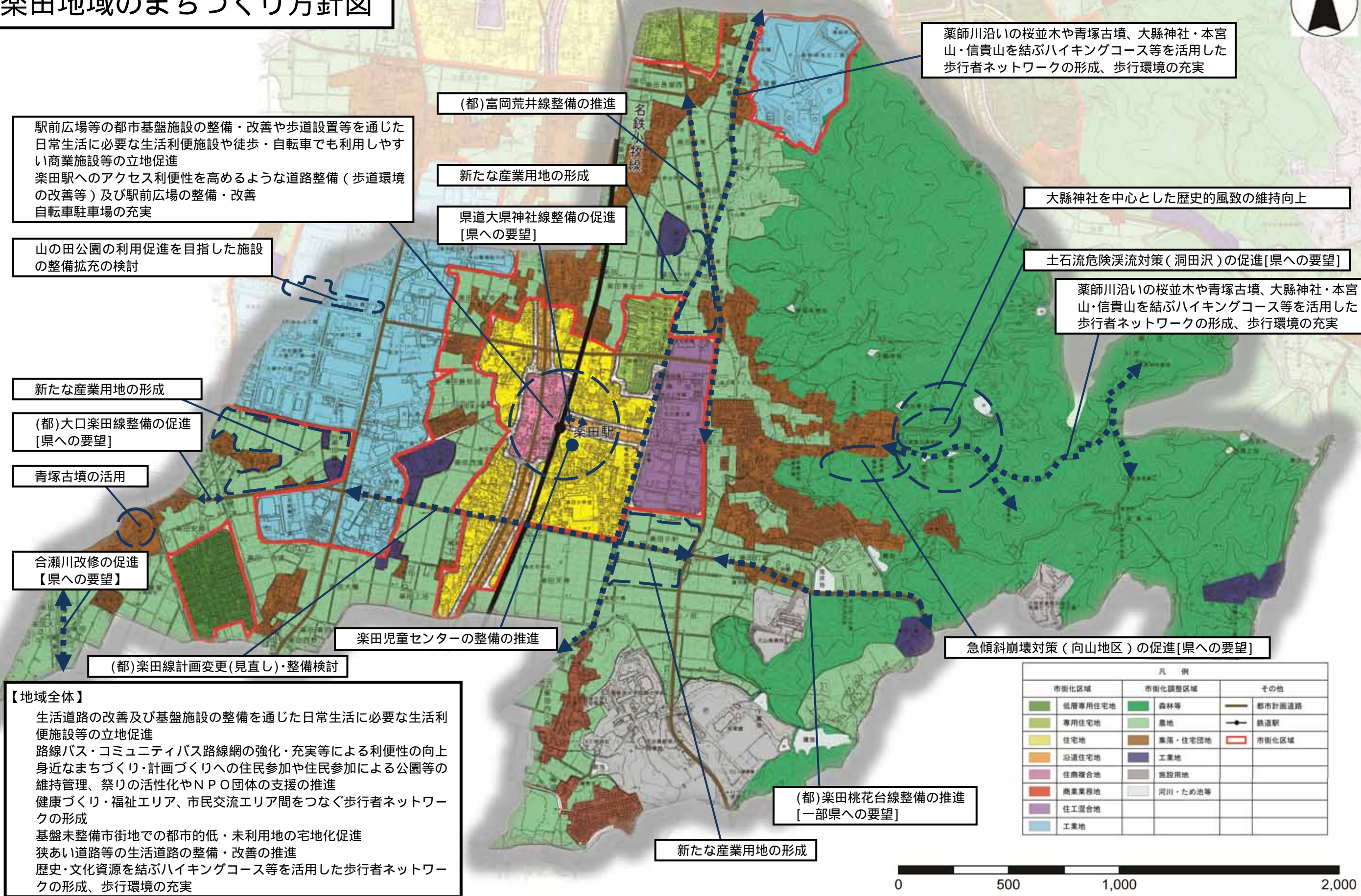
薬師川沿いの桜並木や、青塚古墳、大懸神社・本宮山・信貴山など歴史・文化資源を結ぶハイキングコース等を活用して、歩行者ネットワークの形成や歩行環境の充実を図ります。

大懸神社を中心とした歴史的風致の維持向上を図ります。





# 楽田地域のまちづくり方針図



駅前広場等の都市基盤施設の整備・改善や歩道設置等を通じた日常生活に必要な生活利便施設や徒歩・自転車でも利用しやすい商業施設等の立地促進  
楽田駅へのアクセス利便性を高めるような道路整備(歩道環境の改善等)及び駅前広場の整備・改善  
自転車駐車場の充実

山の田公園の利用促進を目指した施設の整備拡充の検討

新たな産業用地の形成

(都)大口楽田線整備の促進  
【県への要望】

青塚古墳の活用

合瀬川改修の促進  
【県への要望】

楽田児童センターの整備の推進

(都)楽田線計画変更(見直し)・整備検討

**【地域全体】**  
生活道路の改善及び基盤施設の整備を通じた日常生活に必要な生活利便施設等の立地促進  
路線バス・コミュニティバス路線網の強化・充実等による利便性の向上  
身近なまちづくり・計画づくりへの住民参加や住民参加による公園等の維持管理、祭りの活性化やNPO団体の支援の推進  
健康づくり・福祉エリア、市民交流エリア間をつなぐ歩行者ネットワークの形成  
基盤未整備市街地での都市的低・未利用地の宅地化促進  
狭あい道路等の生活道路の整備・改善の推進  
歴史・文化資源を結ぶハイキングコース等を活用した歩行者ネットワークの形成、歩行環境の充実

(都)富岡荒井線整備の推進

新たな産業用地の形成

県道大県神社線整備の促進  
【県への要望】

大縣神社を中心とした歴史的風致の維持向上

土石流危険渓流対策(洞田沢)の促進【県への要望】

薬師川沿いの桜並木や青塚古墳、大縣神社・本宮山・信貴山を結ぶハイキングコース等を活用した歩行者ネットワークの形成、歩行環境の充実

急傾斜崩壊対策(向山地区)の促進【県への要望】

(都)楽田桃花台線整備の推進  
【一部県への要望】

新たな産業用地の形成

凡 例		
市街化区域	市街化調整区域	その他
低層専用住宅地	森林等	都市計画道路
専用住宅地	農地	鉄道駅
住宅地	兼業・住宅団地	市街化区域
沿道住宅地	工業地	
住商複合地	施設用地	
商業業務地	河川・ため池等	
住工複合地		
工業地		





## 5 . 池野地域

### (1) 地域の現況

#### 人口特性

本地域の平成 22 年現在の人口は、1,195 人であり、本市の人口の 1.6% を占めています。また、人口密度は 0.7 人/ha と非常に少なくなっています。

本地域の人口は、住宅団地の開発等により平成 19 年以降毎年増加しています。世帯数は平成 18 年以降急増しており、人口増加率、世帯数増加率ともに市内全域で最も高くなっています。その一方で、世帯人員は毎年減少し、平成 22 年においては、2.74 人/世帯となっています。

本地域の平成 22 年の高齢化率は 23.7% と市全体の 22.6% より高く、市内全域で最も高齢化率が高くなっています。平成 18 年まで高齢化率は年々増加していますが、その後減少しています。また、住宅団地の開発等により年少人口割合は平成 18 年以降増加しており、高齢化が進みつつも、若い世代の増加がうかがわれます。

表 池野地域の基本的指標 (H22)

	H22年3月31日現在		
	池野地域	市全体	市全体に占める割合
面積 (ha)	1,817	7,497	24.2%
人口 (人)	1,195	75,820	1.6%
人口密度 (人/ha)	0.7	10.1	-
世帯数 (世帯)	422	27,880	1.5%
高齢者数 (人)	283	17,125	1.7%
高齢化率 (%)	23.7	22.6	-

注1)人口は町内会単位の集計結果 注2)世帯数に外国人世帯数は含まない  
 (資料:住民基本台帳及び平成21年度犬山市の統計)

図 池野地域の人口・世帯数の推移

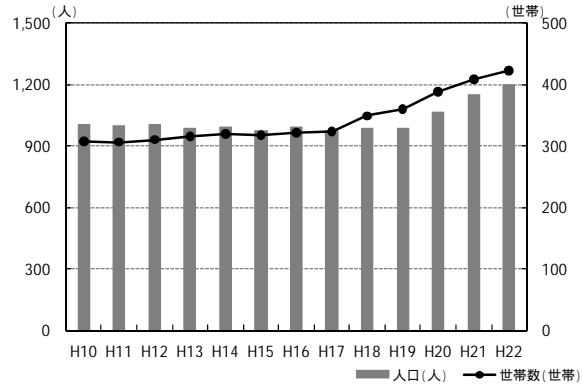
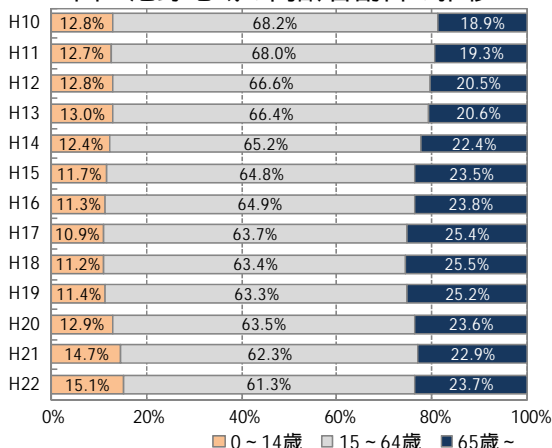


表 池野地域の人口・世帯数・高齢者の推移

	H22年3月31日現在													
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	
人口 (人)	1,004	1,000	1,004	985	990	975	989	973	986	987	1,066	1,147	1,195	
世帯数 (世帯)	307	306	310	315	319	317	321	323	349	360	388	408	422	
高齢者数 (人)	190	193	206	203	222	229	235	247	251	249	252	263	283	
世帯人員 (人/世帯)	3.26	3.26	3.17	3.18	3.10	3.07	3.07	2.99	2.80	2.72	2.71	2.75	2.74	
人口増加率 (%)	-	-0.4	0.0	-1.9	-1.4	-2.9	-1.5	-3.1	-1.8	-1.7	6.2	14.2	19.0	
世帯増加率 (%)	-	-0.3	1.0	2.6	3.9	3.3	4.6	5.2	13.7	17.3	26.4	32.9	37.5	
高齢化率 (%)	18.9	19.3	20.5	20.6	22.4	23.5	23.8	25.4	25.5	25.2	23.6	22.9	23.7	

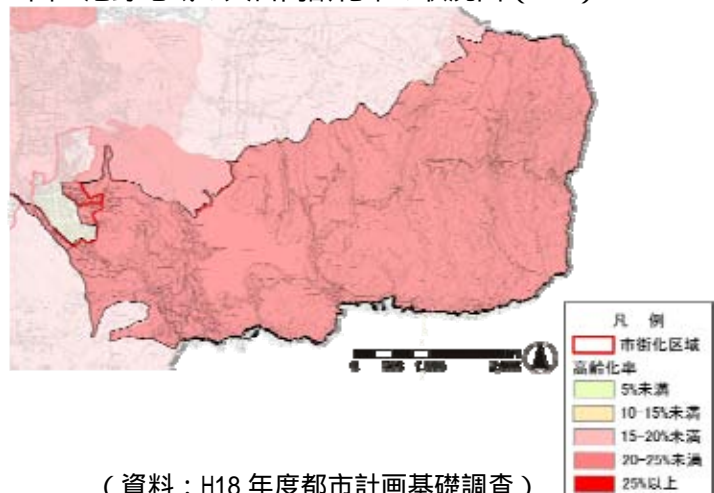
注1)人口は町内会単位の集計結果 注2)世帯数に外国人世帯数は含まない 注3)世帯人員 = 世帯数/人口 (外国人含まない)  
 注4)人口増加率、世帯増加率ともに平成10年度比 注5)高齢化率 = 高齢者数/人口 (資料:住民基本台帳及び外国人登録)

図 池野地域の高齢者割合の推移



\* 小数点第二位で四捨五入しているため、構成比の合計は 100% とならない。

図 池野地域の人口高齢化率の状況図 (H18)



(資料: H18 年度都市計画基礎調査)

土地利用特性

地域の一部が市街化区域となっていますが、大部分が市街化調整区域です。

市街化区域においては、住宅用地としての土地利用が主体となっていますが、都市的低・未利用地もみられます。

市街化調整区域においては、地域の大部分が丘陵地です。入鹿池周辺や新郷瀬川沿いには農地及び集落地がみられ、一部工場も立地しています。また、入鹿池西側には、入鹿池とともに多くの観光客が訪れる博物館明治村が立地しています。

図 都市計画図

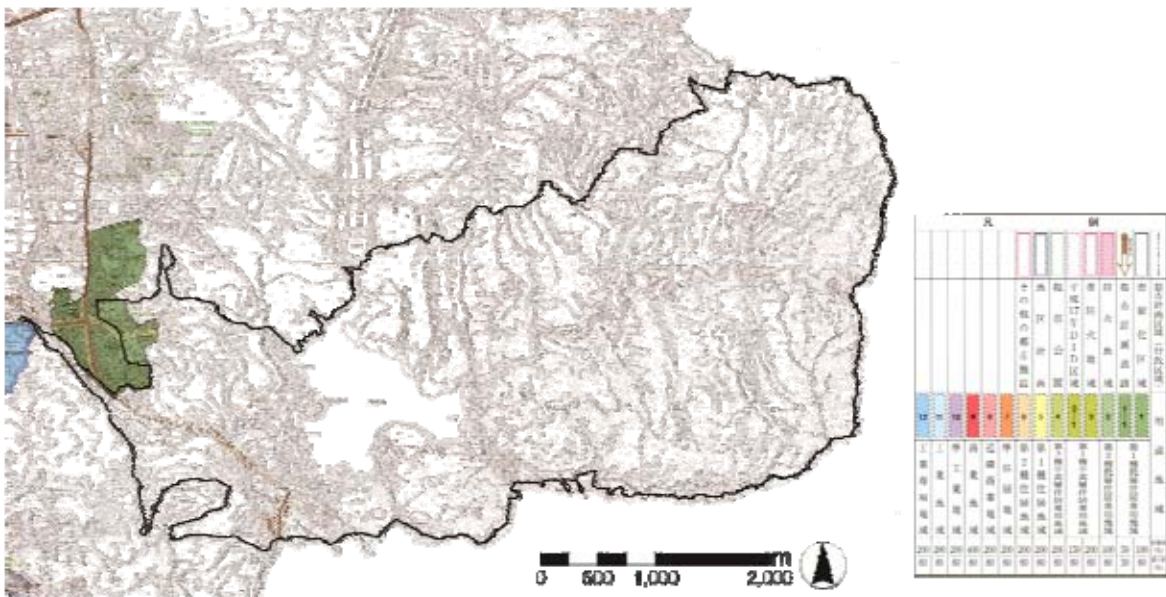
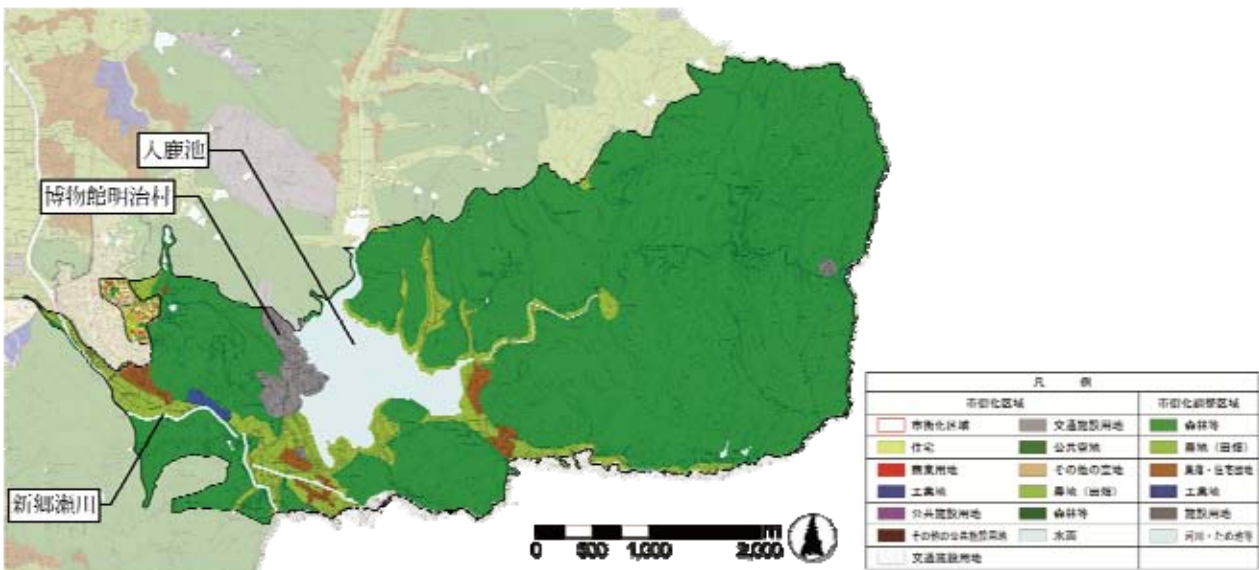


図 土地利用現況図



(資料：市街化区域は H19 年度都市計画基礎調査、市街化調整区域は白図により作成)

都市基盤整備の状況

都市計画道路としては、(都)成田富士入鹿線全線が未整備となっています。

地域全域において、土地区画整理事業は行われていません。

市街化区域の一部は、公園誘致圏に含まれていますが、その他の市街地及び市街化調整区域においては、都市公園(街区公園、近隣公園、地区公園)が不足しています。

図 都市計画道路の整備状況図

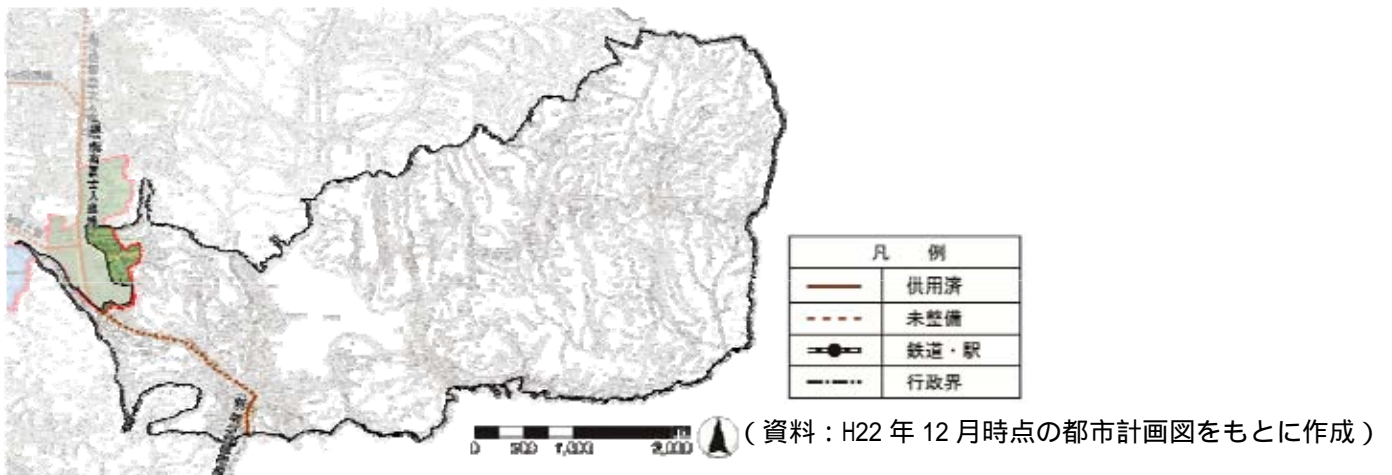


図 土地区画整理事業の整備状況図

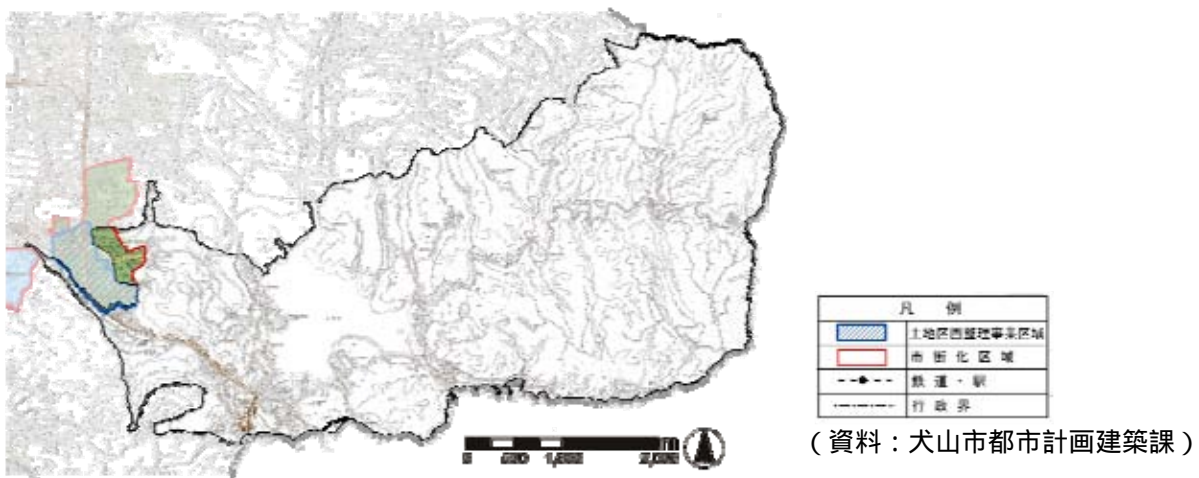
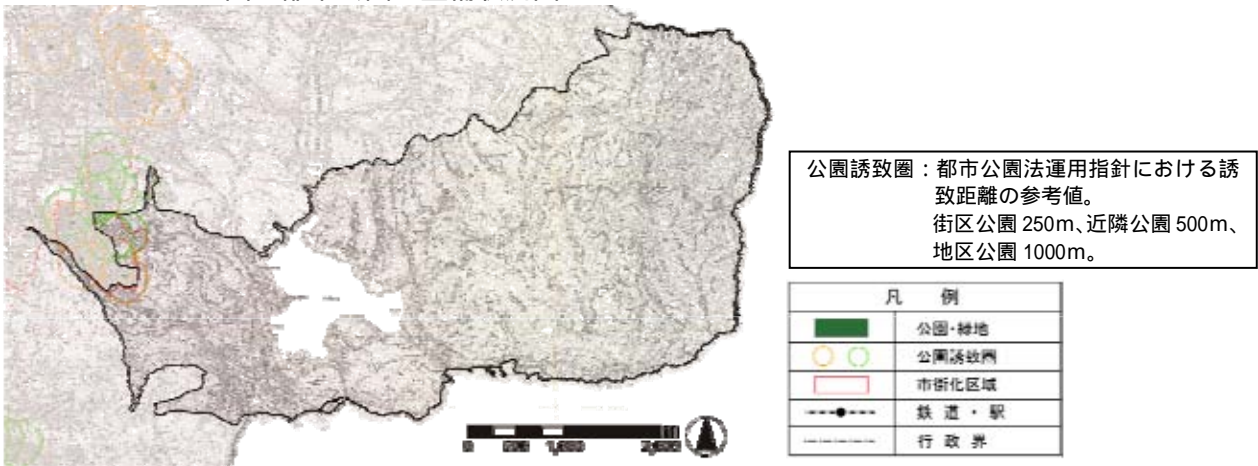


図 都市公園の整備状況図



(2) 全体構想における当該地域の位置づけ

『いつまでも暮らし続けたい都市』を目指して、

- ・大宮浅間神社周辺や入鹿池周辺においては、地域固有の祭りや伝統芸能を通じた地域コミュニティの維持向上を図ることとしています。
- ・新郷瀬川沿い及び東海自然歩道、主要地方道春日井犬山線、主要地方道多治見犬山線等を歩行者・自転車ネットワークに位置づけています。
- ・公共交通による拠点間等のネットワーク化により、誰もが快適に移動できる交通環境の確保を図ることとしています。

『基盤が整い、活力を創出する都市』を目指して、

- ・(都)成田富士入鹿線を円滑な都市活動を支える幹線道路に位置づけています。

『交流を生み、にぎわいがあふれる都市』を目指して、

- ・東部の丘陵地にみられる観光・レクリエーション施設や点在する住宅団地、集落地について、国道41号や尾張パークウェイ等により、市街地とのネットワーク化を図ることとしています。
- ・新郷瀬川沿い及び東海自然歩道、主要地方道春日井犬山線・多治見犬山線等を歩行者・自転車ネットワークに位置づけています。

『自然や環境と調和する都市』を目指して、

- ・東部の丘陵地における里山景観の保全と形成を図ることとしています。
- ・新郷瀬川沿い及び東海自然歩道、主要地方道春日井犬山線・多治見犬山線等については、歩行者・自転車ネットワークを利用した水と緑のネットワークに位置づけています。
- ・地域全域の丘陵地を森林・里山ゾーンに、地域西側の一部を農地ゾーンに位置づけています。



### (3) 地域のまちづくり課題

地域住民意向や地域の現況、全体構想における当該地域の位置づけ等を踏まえ、本地域におけるまちづくり上の主要課題を、全体構想における「都市づくりの目標」の視点ごとに整理します。

#### 「暮らし」の視点

---

- ・本地域では集落地が点在しており、これら地区においては身近な生活環境の充実を図り、地域固有の伝統文化に培われた地域コミュニティを維持していくことが必要です。
- ・高齢化が顕著に進むことが想定される集落地においては、過度に自動車交通に頼らなくても暮らし続けることができるよう、公共交通や徒歩などでの快適な移動環境を確保していくことが必要です。
- ・本地域では集落地が点在していることから、災害時に円滑に避難できるような対策を講じる必要があります。

#### 「活力」「交流・にぎわい」の視点

---

- ・本地域に点在する自然資源をつなぐとともに、地域内の連携を強化し、地域の一体性を高めるために必要な東西方向の道路網の充実を図ることが必要です。
- ・既存の道路網等を活用しながら、地域内に点在する博物館明治村、入鹿池、ヒトツバタゴ自生地等の観光・自然資源等のネットワークを強化し、さらなる活用を図ることが必要です。

#### 「自然・環境」の視点

---

- ・地域に広がる緑地については、その保全を図るとともに、緑を守り、育むような市民の気運を高める取組みを進めることが必要です。

(4) 地域のまちづくり目標と方針

当該地域におけるまちづくり上の主要課題を踏まえ、当該地域が目指すまちづくり目標を以下のように定めるとともに、その実現に向けたまちづくりの方針を示します。

<まちづくり目標>

**緑と水辺を元気に気持ちよく歩けるまち**

本地域では、北部から東部にかけて広がる森林やため池等の豊かな自然を守り・育むとともに、歩いてこれら豊かな自然資源にふれあうことのできるまちを目指します。



<目標実現に向けたまちづくりの方針>

東海自然歩道において、案内標識、公衆便所等の施設や安全に歩くことのできる歩道の改修整備を県と連携して進めます。

東部の丘陵地に広がる森林やまとまりある優良な農地、入鹿池やヒトツバタゴ自生地の保全・活用を図ります。

入鹿池や周辺の観光・自然資源を活用し、これら施設の連携を強化する歩行者ネットワークの形成を図るなど、より多くの観光客を引きつけるような取組みを検討します。

市民や来訪者が里山の豊かな自然を体感し、里山づくりや保全活動にも参加できるような機会を提供します。

県への要望を通じた神尾地区における主要地方道多治見犬山線での歩道設置や東海自然歩道を活用して、歩行者ネットワークの形成を図ります。

<まちづくり目標>

**みんなが健康で安全に暮らせるまち**

本地域では、高齢者をはじめ誰もが快適に移動でき、すべての人が安心して安全に暮らすことのできるまちを目指します。



<目標実現に向けたまちづくりの方針>

集落地等を結ぶ路線バス・コミュニティバス路線網の強化・充実等により、利便性の向上を図ります。

集落地等において、自動車の速度抑制や地区内への過度な進入の抑制に配慮しながら、地権者等の関係者の協力を得て、狭あい道路等の生活道路の整備・改善を進めるとともに、生活道路の改善及び基盤施設の整備を通じて、日常生活に必要な生活利便施設等の立地を促します。

隣接する地域での工業団地等で発生・集中する大型車をはじめとする自動車交通の円滑な処理に向け、県への要望を通じ、主要地方道多治見犬山線の整備を促進します。

防災性の向上に向け、県への要望を通じ、新郷瀬川の改修を促進するとともに、災害時の避難路確保に向けた道路整備を検討します。

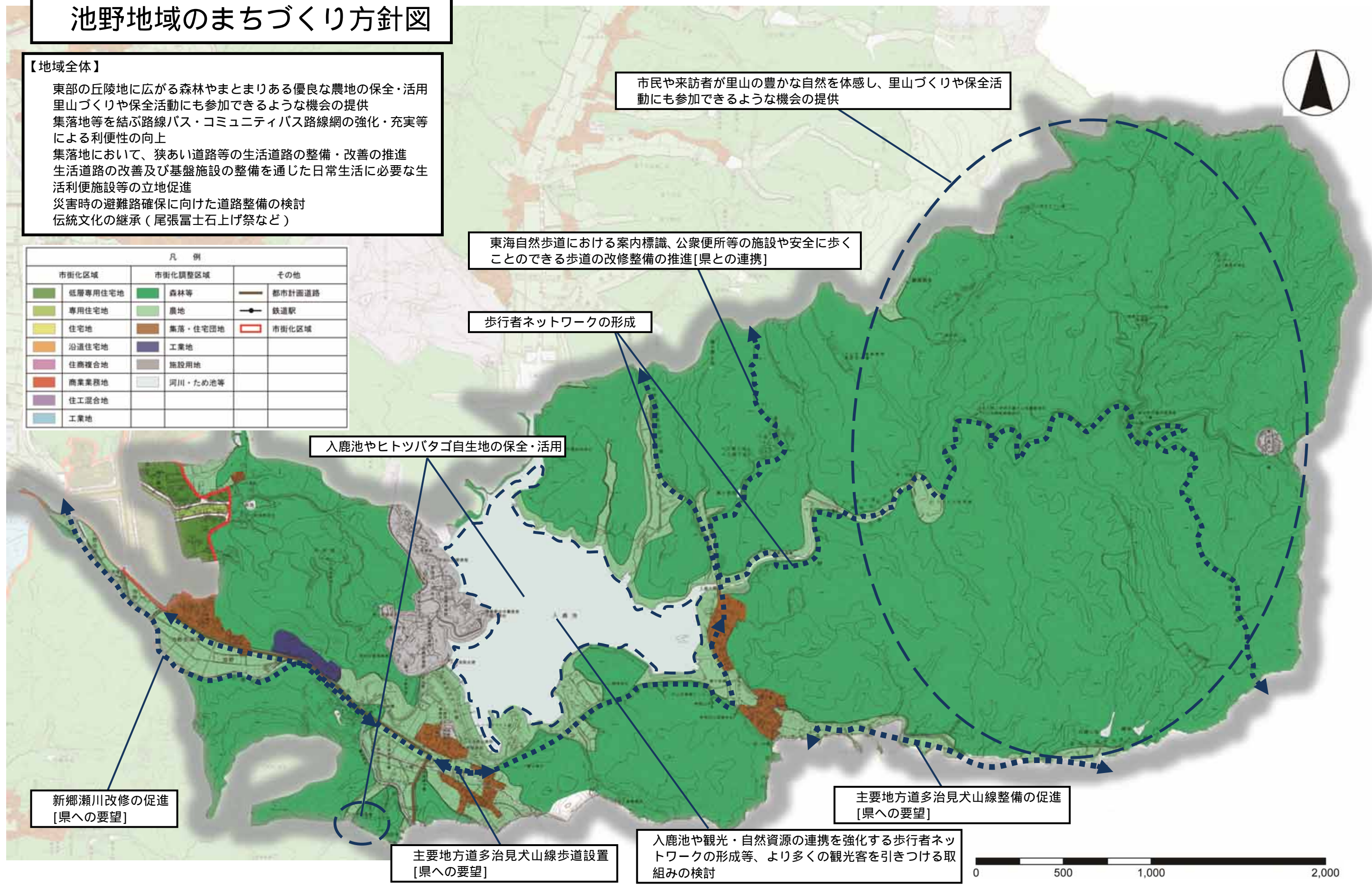
伝統文化（尾張富士石上げ祭など）の継承を図ります。

# 池野地域のまちづくり方針図

## 【地域全体】

東部の丘陵地に広がる森林やまとまりある優良な農地の保全・活用  
 里山づくりや保全活動にも参加できるような機会の提供  
 集落地等を結ぶ路線バス・コミュニティバス路線網の強化・充実等による利便性の向上  
 集落地において、狭あい道路等の生活道路の整備・改善の推進  
 生活道路の改善及び基盤施設の整備を通じた日常生活に必要な生活利便施設等の立地促進  
 災害時の避難路確保に向けた道路整備の検討  
 伝統文化の継承（尾張富士石上げ祭など）

凡 例		
市街化区域	市街化調整区域	その他
低層専用住宅地	森林等	都市計画道路
専用住宅地	農地	鉄道駅
住宅地	集落・住宅団地	市街化区域
沿道住宅地	工業地	
住商複合地	施設用地	
商業業務地	河川・ため池等	
住工混合地		
工業地		



市民や来訪者が里山の豊かな自然を体感し、里山づくりや保全活動にも参加できるような機会の提供

東海自然歩道における案内標識、公衆便所等の施設や安全に歩くことのできる歩道の改修整備の推進[県との連携]

歩行者ネットワークの形成

入鹿池やヒトツバタゴ自生地の保全・活用

新郷瀬川改修の促進  
[県への要望]

主要地方道多治見犬山線歩道設置  
[県への要望]

入鹿池や観光・自然資源の連携を強化する歩行者ネットワークの形成等、より多くの観光客を引きつける取組みの検討

主要地方道多治見犬山線整備の促進  
[県への要望]

